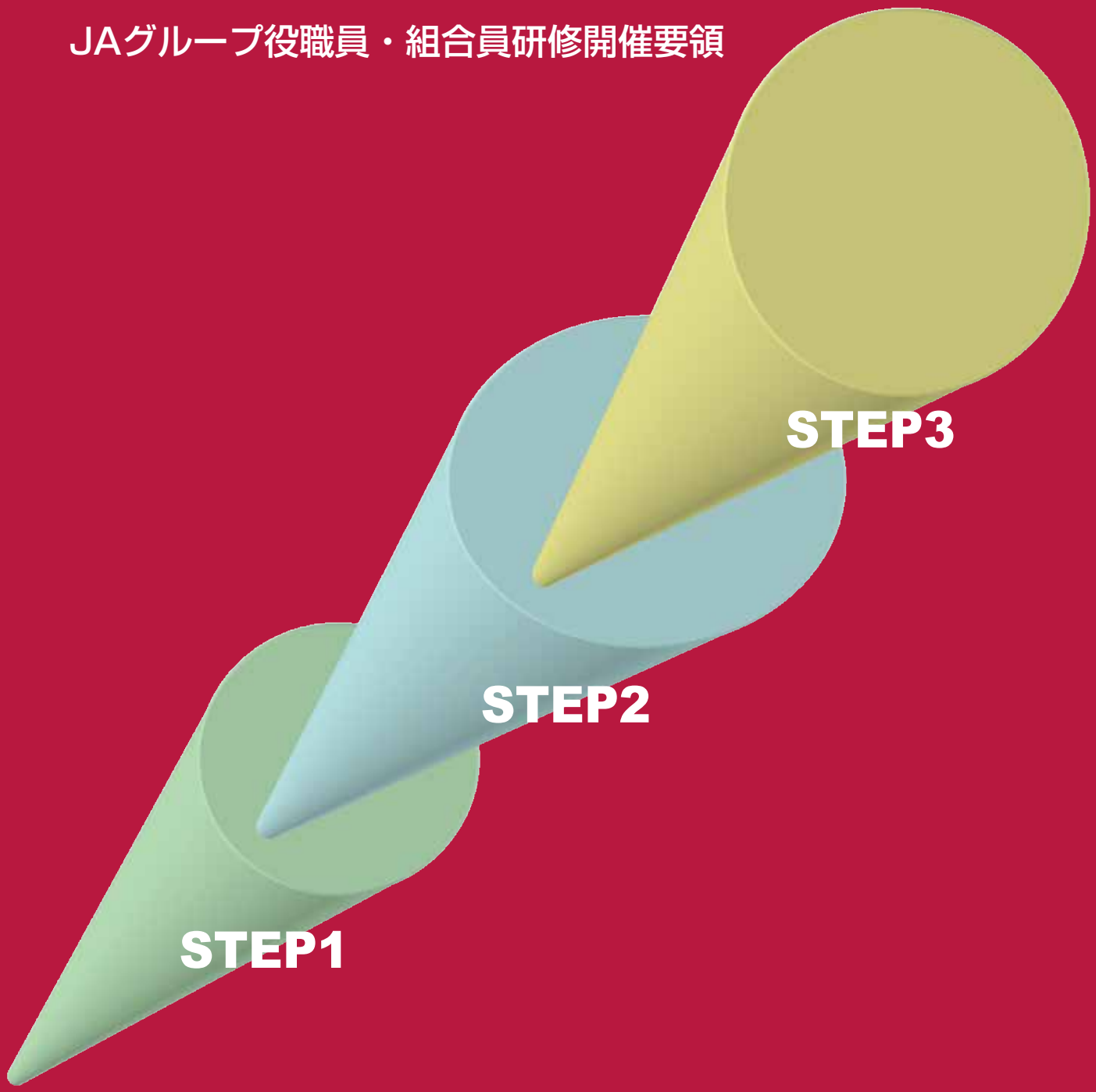
令和６年度

研修開催案内

JAグループ役職員・組合員研修開催要領



JAカレッジ

一般財団法人 北海道農業協同組合学校

令和6年度　JAグループ役職員・組合員研修開催日程表

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
4月	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
								令和６年 新採用職員 ４月開催①							
5月	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
			憲法記念日	みどりの日	こどもの日	振替休日		若年層職員①					財務管理実務		
6月	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
			農業税務（オンライン同時配信）		係長①						中堅層職員Ⅱ①			ポジティブ・メンタルヘルス	
7月	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
	部長①		JA青年部次期リーダー養成						新任監事（1年目）①						海の日
	毒劇物取扱資格取得準備講習							建物共済審査員養成①							
8月	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
					係長②						山の日	振替休日			（お盆）
							生命共済審査員養成①								
							農業経営診断士養成								
9月	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
					新任常勤理事				自動車共済契約審査員養成②						
		課長Ⅰ②										貸出管理回収の法務と実務（Web）			
											ドローン資格取得①				
10月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
		中堅層職員Ⅱ③					課長Ⅰ③							スポーツの日	
	農協簿記								農業経営診断士フォローアップ						
			ドローン体験講習②												
11月	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
			文化の日	振替休日				開校記念日							
						常勤理事							新任理事（1年目）①		
											建物共済審査員養成②				
12月	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
		新任理事（1年目）②							新任監事（1年目）②						
									人 材 育 成 基 礎						
1月	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
	元旦												成人の日		
															中堅層
2月	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
					新規就農者						建国記念日	農業経営継承者			
			女性農業者生き活き												
3月	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土

16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	
													昭和の日		
令和６年 新採用職員 ４月開催②						令和６年 新採用職員 ４月開催③									

16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
				中堅層職員Ⅰ①									新採用職員フォローアップ①		
												LA養成①（前期）			

16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
	課長Ⅰ①								LA養成②（前期）					
		自動車共済契約審査員養成①								組合員組織活動担当者（青年部・女性部事務局）養成				

16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
		信用事業担当理事・部長				課長Ⅱ①							若年層職員②		
女性職員キャリアアップ①								中堅層職員Ⅰ②							

16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
					中堅層職員Ⅰ③							中堅層職員Ⅱ②			
				自動車共済契約者対応担当者基礎									JA広報・発信力強化担当者		
						ドローン体験講習①				LA養成①（後期）					

16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
敬老の日						秋分の日	振替休日							
	Ｊ Ａ個別課題解決に向けたワークショップ型								新採用職員フォローアップ②					
		信用事業管理者・支店長							LA養成②（後期）					
	営農（酪農・畜産）													

16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
課長Ⅱ②					部長②		係長③					若年層職員③			
生命共済審査員養成②					営農（野菜・青果）										

16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
							勤労感謝の日							
		係長④							課長Ⅰ④					
				ドローン資格取得②							新採用職員フォローアップ③			

16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
女性職員キャリアアップ②（Web）															

16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
職員Ⅱ④						新任監事（2年目）					新任理事（1年目）③				
													JA青年部リーダー養成		

16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
							天皇誕生日	振替休日				
		非常勤理事										

16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
				春分の日											
								令和7年 新採用職員 3月開催							

令和６年度　研修計画一覧表（コース別日程・計画人数・受講対象者）

種別	コード	コース		開催日数	計画人数	開催期間
役員	A01	常勤理事研修		２日間	50	11月６日(水)～11月７日(木)
	A02	非常勤理事研修		３日間	30	２月18日(火)～２月20日(木)
	A03	新任常勤理事研修		２日間	15	９月５日(木)～９月６日(金)
	A04	新任理事（１年目）研修	第１回	各３日間	各30	11月13日(水)～11月15日(金)
			第２回			12月２日(月)～12月４日(水)
			第３回			１月27日(月)～１月29日(水)
	A05	新任監事（１年目）研修	第１回	各４日間	各20	７月９日(火)～７月12日(金)
			第２回			12月９日(月)～12月12日(木)
	A06	新任監事（２年目）研修		３日間	15	１月22日(水)～１月24日(金)
	A07	信用事業担当理事・部長研修		２日間	30	７月18日(木)～７月19日(金)
階層別	B01	部長研修	第１回	各２日間	各30	７月１日(月)～７月２日(火)
			第２回			10月21日(月)～10月22日(火)
	B02	課長研修Ⅱ	第１回	各３日間	各30	７月22日(月)～７月24日(水)
			第２回			10月15日(火)～10月17日(木)
	B03	課長研修Ⅰ	第１回	各３日間	各30	６月17日(月)～６月19日(水)
			第２回			９月２日(月)～９月４日(水)
			第３回			10月７日(月)～10月９日(水)
			第４回			11月25日(月)～11月27日(水)
	B04	係長研修	第１回	各３日間	各35	６月５日(水)～６月７日(金)
			第２回			８月５日(月)～８月７日(水)
			第３回			10月23日(水)～10月25日(金)
			第４回			11月18日(月)～11月20日(水)
	B05	中堅層職員研修Ⅱ	第１回	各３日間	各30	６月11日(火)～６月13日(木)
			第２回			８月28日(水)～８月30日(金)
			第３回			10月２日(水)～10月４日(金)
			第４回			１月15日(水)～１月17日(金)
	B06	中堅層職員研修Ⅰ	第１回	各３日間	各30	５月20日(月)～５月22日(水)
			第２回			７月24日(水)～７月26日(金)
			第３回			８月21日(水)～８月23日(金)
	B07	若年層職員研修	第１回	各３日間	各30	５月８日(水)～５月10日(金)
			第２回			７月29日(月)～７月31日(水)
			第３回			10月28日(月)～10月30日(水)
	B08	新採用職員フォローアップ研修	第１回	各３日間	各35	５月29日(水)～５月31日(金)
			第２回			９月25日(水)～９月27日(金)
			第３回			11月27日(水)～11月29日(金)
	B09	新採用職員研修	第１回	各５日間	各50	４月８日(月)～４月12日(金)
			第２回			４月15日(月)～４月19日(金)
			第３回			４月22日(月)～４月26日(金)
			３月開講			３月24日(月)～３月28日(金)

種別		コード	コース			開催日数	計画人数	開催期間
部門別	共通	C01	人材育成基礎研修			5日間	25	12月9日(月)～12月13日(金)
		C02	女性職員キャリアアップ研修	第1回		3日間	15	7月16日(火)～7月18日(木)
				第2回(Web)		2日間	15	12月16日(月)～12月17日(火)
		C03	ポジティブ・メンタルヘルス研修			2日間	15	6月13日(木)～6月14日(金)
		C04	毒劇物取扱資格取得準備講習			5日間	20	7月1日(月)～7月5日(金)
部門別	管理	D01	財務管理実務研修			4日間	15	5月13日(月)～5月16日(木)
		D02	農協簿記研修			3日間	15	10月1日(火)～10月3日(木)
		D03	ＪＡ広報・発信力強化担当者研修			2日間	15	8月29日(木)～8月30日(金)
		D04	ＪＡ個別課題解決に向けたワークショップ型研修			3日間	15	9月18日(水)～9月20日(金)
	共済	E01	自動車共済契約審査員養成研修	第1回		各3日間	各30	6月19日(水)～6月21日(金)
				第2回				9月9日(月)～9月11日(水)
		E02	生命共済審査員養成研修	第1回		各3日間	各30	8月7日(水)～8月9日(金)
				第2回				10月16日(水)～10月18日(金)
		E03	建物共済審査員養成研修	第1回		各4日間	各30	7月8日(月)～7月11日(木)
				第2回				11月11日(月)～11月14日(木)
		E04	自動車共済契約者対応担当者基礎研修			3日間	20	8月20日(火)～8月22日(木)
		E05	ＬＡ養成研修	第1回	前期	4日間	各20	5月28日(火)～5月31日(金)
					後期	3日間		8月26日(月)～8月28日(水)
				第2回	前期	4日間		6月25日(火)～6月28日(金)
					後期	3日間		9月25日(水)～9月27日(金)
	信用	F01	信用事業管理者・支店長研修			2日間	20	9月19日(木)～9月20日(金)
		F02	貸出管理回収の法務と実務研修（Ｗｅｂ）			2日間	40	9月12日(木)～9月13日(金)
	営農	G01	営農生産販売部門（野菜・青果）研修			2日間	15	10月21日(月)～10月22日(火)
		G02	営農生産販売部門（酪農・畜産）研修			2日間	15	9月17日(火)～9月18日(水)
		G03	組合員組織活動担当者（青年部・女性部事務局）養成研修			3日間	15	6月26日(水)～6月28日(金)
		G04	農業経営診断士養成研修			3日間	20	8月7日(水)～8月9日(金)
		G05	農業経営診断士フォローアップ研修			3日間	15	10月9日(水)～10月11日(金)
		G06	農業税務研修（オンライン同時配信）			3日間	20	6月3日(月)～6月5日(水)
		G07	ドローン体験講習	第1回		各2日間	各10	8月22日(木)～8月23日(金)
				第2回				10月3日(木)～10月4日(金)
		G08	ドローン資格取得研修	第1回		各3日間	各10	9月11日(水)～9月13日(金)
				第2回				11月20日(水)～11月22日(金)
組合員		H01	新規就農者研修			3日間	20	2月5日(水)～2月7日(金)
		H02	農業経営継承者研修			3日間	20	2月12日(水)～2月14日(金)
		H03	ＪＡ青年部リーダー養成研修			3日間	20	1月29日(水)～1月31日(金)
		H04	女性農業者生き活き研修			2日間	15	2月3日(月)～2月4日(火)
		H05	ＪＡ青年部次期リーダー養成研修			3日間	20	7月3日(水)～7月5日(金)

令和６年度　研修会開催案内目次

令和６年度　ＪＡグループ役職員・組合員研修会開催日程表
令和６年度　研修計画一覧表（コース別日程・計画人数・受講対象者）

Ⅰ．令和６年度研修部事業計画 …… 1

Ⅱ．ＪＡ役員、職員、組合員学習研修体系 …… 7

Ⅲ．研修コース別開催内容

＜役員研修＞
常勤理事研修 …… 17
非常勤理事研修 …… 18
新任常勤理事研修 …… 19
新任理事（１年目）研修 …… 20
新任監事（１年目）研修 …… 21
新任監事（２年目）研修 …… 22
信用事業担当理事・部長研修 …… 23

＜階層別研修＞
部長研修 …… 25
課長研修Ⅱ …… 26
課長研修Ⅰ …… 27
係長研修 …… 28
中堅層職員研修Ⅱ …… 29
中堅層職員研修Ⅰ …… 30
若年層職員研修 …… 31
新採用職員フォローアップ研修 …… 32
新採用職員研修 …… 33

＜部門別研修＞
人材育成基礎研修 …… 34
女性職員キャリアアップ研修 …… 36
ポジティブ・メンタルヘルス研修 …… 38
毒劇物取扱資格取得準備講習 …… 39
財務管理実務研修 …… 40
農協簿記研修 …… 41
ＪＡ広報・発信力強化担当者研修 …… 42
ＪＡ個別課題解決に向けたワークショップ型研修 …… 43
自動車共済契約審査員養成研修 …… 44
生命共済審査員養成研修 …… 45
建物共済審査員養成研修 …… 46
自動車共済契約者対応担当者基礎研修 …… 47
ＬＡ養成研修 …… 48
信用事業管理者・支店長研修 …… 50
貸出管理回収の法務と実務研修(Web) …… 51

営農生産販売部門（野菜･青果）研修 …… 52
営農生産販売部門（酪農･畜産）研修 …… 53
組合員組織活動担当者（青年部･女性部事務局）養成研修 …… 54
農業経営診断士養成研修 …… 55
農業経営診断士フォローアップ研修 …… 56
農業税務研修（オンライン同時配信） …… 57
ドローン体験講習 …… 58
ドローン資格取得研修 …… 59
＜組合員研修＞ 新規就農者研修 …… 60
農業経営継承者研修 …… 61
ＪＡ青年部リーダー養成研修 …… 62
女性農業者生き活き研修 …… 63
ＪＡ青年部次期リーダー養成研修 …… 64

Ⅳ．受託研修 …… 65
「受託研修」活用のご案内 …… 67
ビジネスマナー研修 …… 68
コンプライアンス研修 …… 69
組合員（農業協同組合論）研修 …… 70

Ⅴ．ＪＡカレッジ「施設利用のご案内」 …… 71

Ⅵ．研修申込に係る留意事項 …… 79

＜付　属＞
ＪＡカレッジへの経路図

Ⅰ．令和６年度研修部事業計画

Ⅰ．基　本　方　針

第30回ＪＡ北海道大会決議及び「ＪＡグループ北海道人づくりビジョン実践方策」の基本方針・実践方策を踏まえ、ＪＡ北海道中央会・各連合会と連携し、ＪＡのニーズを踏まえ、新たな研修の企画や受講者が参加しやすい日程・内容等に見直し実施します。

Ⅱ．研修実施の内容

⑴　研修コースの計画概要

本年度は44コース、74回の研修を実施します。受講者計画人数は合計で1,940名となります。

①　コースと回数

役員研修	常勤理事研修ほか・・・・・	７コース	10回
職員研修	階層別研修・・・・・・・・	９コース	29回
	部門別研修・・・・・・・・	23コース	30回
組合員研修	新規就農者研修ほか・・・・	５コース	５回
	合　計	44コース	74回

② 新設する研修

・非常勤理事研修（中央会共催）
・ＪＡ個別課題解決に向けたワークショップ型研修（中央会共催）
・ＪＡ青年部次期リーダー養成研修（中央会共催）

③ 廃止する研修

・新任理事（２年目）研修
・地域農業振興計画・ＪＡ中期経営計画策定研修（中央会共催）
・人事管理基礎研修（中央会共催）
・法人税・消費税初任者研修（中央会共催）
・職員採用担当者研修（中央会共催）
・内部監査担当初任者研修（中央会共催）
・農業協同組合法基礎研修

④ 隔年度開催のため、今年度は実施する研修

・営農生産販売部門（酪農・畜産）研修

⑤ 開催期間が１日延長となる研修

・新任監事（２年目）研修

⑥ 開催回数を見直す研修

・部長研修（１回増加）
・課長研修Ⅱ（１回増加）
・課長研修Ⅰ（１回増加）
・係長研修（１回増加）
・中堅層職員研修Ⅱ（２回増加）

⑦ 開催方法が変更となる研修
・農業税務研修（オンライン同時配信）

⑧ 受託研修
・ビジネスマナー研修
・コンプライアンス研修
・組合員（農業協同組合論）研修

⑵ 役　員　研　修

役員研修については、組合員ニーズの多様化、農業・ＪＡを取り巻く情勢の変化のなかで、各役員の立場に求められる役割を発揮できるよう、自らの気づきの場として設定するとともに、他ＪＡとの情報交流の機会を提供します。

① 常勤理事研修

ＪＡを取り巻く経営環境の高度化・複雑化、農業情勢の大きな変化を的確に把握し、適切な経営戦略を策定・実践するために、わが国のトップレベルの識者を講師に招いて情報提供の場を設定します。

② 非常勤理事研修

経営者の心構えや大局的な視点の必要性を学び、組織リーダーとしての決断力と人間力を磨き、グループ討議等を通じて、人的ネットワークづくりを図ります。また、講師である企業経営者との直接対話を通じて、理事としての更なる成長を促進します。

③ 新任常勤理事研修

組織代表として選出された新任の常勤理事を対象に、農業を取り巻く情勢やＪＡトップとしての役割発揮について、情報提供と相互討議を行い、双方向・参加型の研修とします。

④ 新任理事研修（１年目）研修

新任の非常勤理事を対象とし、理事としての職責の自覚と農業協同組合運動者としての使命を踏まえ、ＪＡ経営に関する基本的な知識と技能の習得に努めます。併せて、参加者相互の交流とネットワークづくりに努めます。

⑤ 新任監事研修（１年目研修及び２年目研修）

新任の監事（員外監事含む）を対象に、「新任監事（１年目）研修」を開催し、農業を取り巻く情勢の変化、ＪＡ経営の現状と課題、農協法と監事の役割及び監査の要点について学習します。

「新任監事（２年目）研修」においては、１年間の監事としての実務経験を踏まえ、今後どのような点に留意しながら職責を果たすべきか、事例等を交じえて学習します。今年度より、日程を１日延長し、内容の充実を図ります。

⑥ 信用事業担当理事・部長研修

ＪＡ北海道信連との共催研修として、信用事業担当理事および全部門部長職を対象に金融機関に求められる内部管理態勢を学び、金融検査事例を通じて、ＪＡが検査当局から指摘される項目、その項目で求められる態勢整備のレベルについて学習します。

併せて、不祥事件・不正を引き起こす要素を理解し、不祥事発見・抑止防止に向けた取り組み及び不祥事発生時の対応を習得します。

⑶ 職　員　研　修

ＪＡ総合事業全般についての基本的理解や実践的知識の向上を図るための研修と、ＪＡを取り巻く情勢の変化に対応できる創造･提案型職員を養成するための研修を有機的に組み合わせたコースとして開催します。

① 階層別研修

新採用職員から全職員受講型の研修体系として、９コース研修を実施します。「新採用職員研修」については、ＪＡ北海道中央会各支所開催の研修との役割分担を踏まえた研修内容とするとともに、採用後３年間の育成強化の必要性に鑑み、３年間連続して受講できるように、「新採用職員フォローアップ研修」（入組２年目）、「若年層職員研修」（入組３年目）を開催します。

併せて、中堅層職員の資質向上を図るため、「中堅層職員研修Ⅰ」（入組５年目）、「中堅層職員研修Ⅱ」（入組８年目）の研修を開催します。また、ミドル層の管理者育成強化を図るため「課長研修Ⅰ」（初任課長・初任支店長対象）と「課長研修Ⅱ」（課長・支店長対象）を開催します。

「部長研修」については、ＪＡのあるべき姿に向け組織の方向性を打ち出し、周囲を導いていける考え方の習得を図るため、協同組合としてのＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）の目標を踏まえた研修内容として開催します。

特に今年度は、ＪＡ・地域間の受講率の格差是正、受講率の向上のため、開催回数を見直します。

＜階層別研修体系＞

・新採用職員研修（入組１年目）
・新採用職員フォローアップ研修（入組２年目）
・若年層職員研修（入組３年目）
・中堅層職員研修Ⅰ（入組５年目）　※北海道信連との共催です。
・中堅層職員研修Ⅱ（入組８年目）
・係長研修（係長）　※北海道信連との共催です。
・課長研修Ⅰ（初任課長、初任支店長）　※北海道信連との共催です。
・課長研修Ⅱ（課長、支店長）
・部長研修（部長、副部長、基幹支店長）

② 部門別研修

管理、共済、信用、営農、共通部門別に、最新の業務知識と専門能力を習得するため、各事業部門にかかわる研修内容の充実を図り、ＪＡ北海道中央会・各連合会と連携して取り進めます。

共通部門研修においては、各事業の理論と実務の習得を目的とした「人材育成基礎研修」、ＪＡ事業のより一層の推進強化を図るため、女性職員の能力が組織内で十二分発揮できるようモチベーションアップにつながる「女性職員キャリアアップ研修」、そしてコーチング手法の実践による「ポジティブ・メンタルヘルス研修」等を開催します。

管理部門では、「職員採用担当者研修」（中央会共催）など６コースを廃止する一方、今年度から「ＪＡ個別課題解決に向けたワークショップ型研修」（中央会共催）を新設し、自JAの課題解決を担うリーダー職員を育成します。

共済部門では、ひと・いえ・くるまに係る審査員資格取得を目的にした「共済審査員養成研修」、共済推進活動に必要な基礎知識の取得を目指す「ＬＡ養成研修」等を開催します。

信用部門では、店舗のマネジメント課題と対策を明らかにする「信用事業管理者・支店長研修」等を開催します。

さらに営農部門においては、酪農学園大学の支援を受け、担い手確保等のため農業経営の省力化・効率化の手法として注目される無人飛行機に係る「ドローン体験講習」「ドローン資格取得研修」等を開催します。

⑷ 組合員研修

組合員研修については、ＪＡや各地区での研修を踏まえ、「新規就農者研修」、「農業経営継承者研修」、「ＪＡ青年部リーダー養成研修」、「女性農業者生き活き研修」および新設の「ＪＡ青年部次期リーダー養成研修」の５研修を開催し、農村地域の青年農業者、女性農業者のリーダー養成に努めます。

① 新規就農者研修

ＪＡの理念及び組織の仕組みや事業内容を理解し、地域農業の健全な担い手及び農業経営者としての知識・技能の習得を目指します。

② ＪＡ青年部リーダー養成研修

ＪＡ青年部組織の活性化を図るべく、リーダーの養成を目的に開催します。

③ 農業経営継承者研修

今後、５年程度以内に経営継承の予定のある農業者を対象に、農業経営者としての心構えを学び、協同組合やＪＡ組織の特性・事業の仕組みを学ぶとともに経営継承に向けての準備の習得を目指します。

④ 女性農業者生き活き研修

地域農業及び農村の活性化並びに協同組合及びＪＡ組織・事業の理解促進と併せ農業女性の活動事例や相互討議を交え、地域において女性農業者の積極的な活動展開が図られるよう女性農業者の養成と参加者の交流促進に努めます。

⑤ ＪＡ青年部次期リーダー養成研修

協同組合の歩み、ＪＡグループ組織と事業の概要、最新農業技術、対人能力の養成など、次世代のリーダーに求められるスキルを学びます。

⑸ 受託研修

ＪＡ等の依頼により、本校での研修に支障をきたさない範囲でＪＡに出向いて実施します。

① ビジネスマナー研修
② コンプライアンス研修
③ 組合員（農業協同組合論）研修

Ⅱ．ＪＡ役員、職員、組合員学習研修体系

役員研修体系例

理事は経営階層（トップマネジメント）を意味し、その職能は、組合員からの委託を受けて業務執行に関する意思決定を行うと同時に、組合長以下の経営執行層を監視する受託機能があります。

組合長をはじめとする常勤理事の果たす役割は、組合員代表としての機能（組合員のニーズを汲み上げＪＡ運営に反映させる）と事業を改革していく機能（ＪＡ事業をとりまく状況を的確に判断して不断に改革していく）及び経営管理者としての機能（具体的な執行と適切な運営管理）があります。

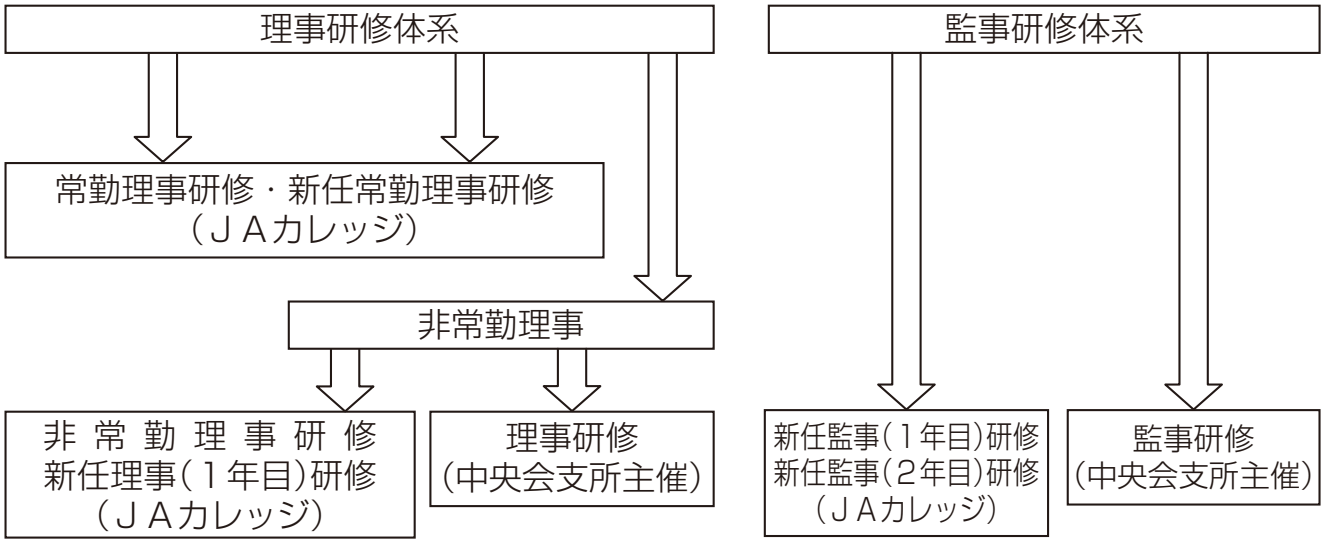
監事は理事の職務執行を監査する機能があります。

ＪＡにおいても、経営管理の高度化・複雑化と業務の高度化・複雑化、社会的責任が増加しており、役員研修については今まで以上に重要になってきています。

ついては、ＪＡカレッジ主催の役員研修を中心とした体系を整備いたしましたので、受講され組合員の負託に応えられるよう一層のご努力を期待いたします。

なお、ＪＡ独自で行っている研修などについてはＪＡによって差異がありますので貴ＪＡの役員研修体系を策定される際には、それらを網羅した整備をお願いいたします。

役員研修体系（基本）



上記研修の他に信用事業担当役員としての職務遂行に資するため「信用事業担当理事・部長研修」（ＪＡ北海道信連と共催）をＪＡカレッジにおいて実施しています。

階　層　別　研

階　層	入組後の３年間でＪＡ職員としての基礎を固める			期待に適応できる
	新　人	若　年　層		中　堅
受講対象	新採用職員	入組２年目	入組３年目	入組５年目
研修名	新採用職員研修	新採用職員 フォローアップ研修	若年層職員研修	中堅層職員研修Ⅰ
育成内容	協同組合としての理念・組織を理解し、社会人としての基本を身に付ける。	農　業　・		
		ストレス・失敗など様々な困難に直面した際に、その逆境を乗り越える折れない心（復元力）を養う。	ポジティブ思考により自分自身のモチベーションを高める方法を養う。	基本的な論理的思考を学び、文書や発話を通じて相手へ伝える力を養う。
主な育成スキル	社会人基礎力	レジリエンス （復元力）	セルフ・ モチベーション力	思考力 発信力
主な研修講師依頼先	本　校	日本経営協会	日本マンパワー	産業能率大学

部　門　別　研

部　門	共　通	管　理
研修名	人材育成基礎研修 女性職員キャリアアップ研修 ポジティブ・メンタルヘルス研修 毒劇物取扱資格取得準備講習研修	財務管理実務研修 農協簿記研修 ＪＡ広報・発信力強化担当者研修 ＪＡ個別課題解決に向けたワークショップ型研修

修　体　系

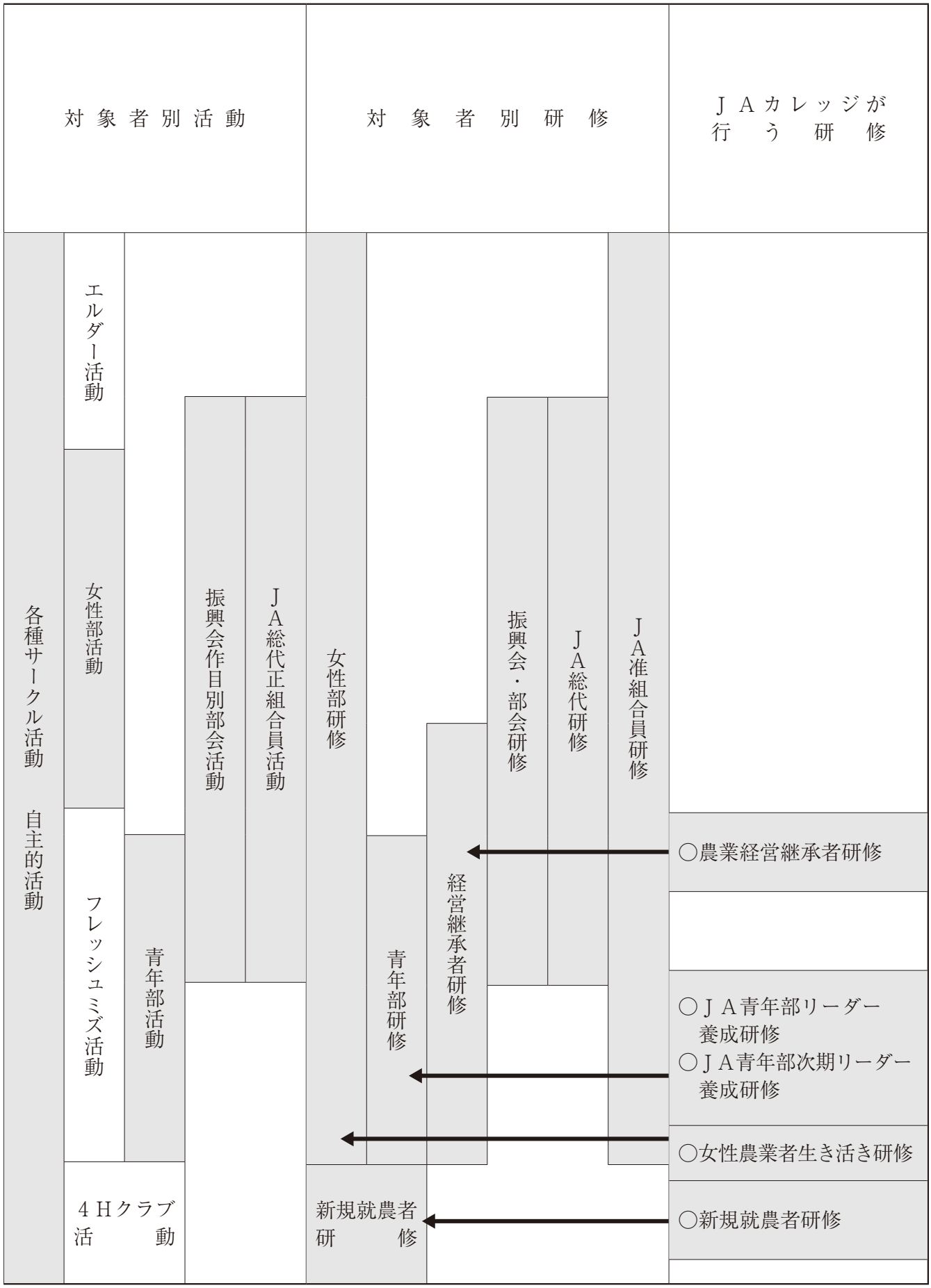
現場力を高める	リーダーシップを発揮し組織目標の達成と組織の活性化をマネジメントする			
層	管理層			
入組８年目以降	係　長	初任課長 （初任支店長）	課長（支店長）	部長・副部長・ 基幹支店長
中堅層職員研修Ⅱ	係長研修	課長研修Ⅰ	課長研修Ⅱ	部長研修
ＪＡの現状把握				
部下・後輩の主体性を引き出し、仕事を前向きに取り組めるよう支援する力を養う。	現場の当たり前に着目して、埋没している「問題」を発見、その重要性を検証する力を養う。	チームでの取り組みを通じて、顕在化している課題や問題の解決する力を養う。	起こりつつある環境の変化を認識し、今後の経営を成功へと導く経営計画構想を明確にする方法を養う。	「力強い農業」「豊かな魅力ある農村」の実現に向けて、組織の方向性を示し、周囲を導いていくための考え方や実践する力を養う。
部下育成力 調整力	問題発見力 問題検証力	チーム力 問題解決力	戦略的思考の再構築力 変革マインドの醸成	組織の上位概念構想力 人間力あるリーダーシップ
日本経営協会	産業能率大学	産業能率大学	日本経営協会	ビジネス・ コンサルタント

修　体　系

営　農	信　用	共　済
営農生産販売部門（野菜・青果）研修 営農生産販売部門（酪農・畜産）研修 組合員組織活動担当者 （青年部・女性部事務局）養成研修 農業経営診断士養成研修 農業経営診断士フォローアップ研修 農業税務研修 ドローン体験講習 ドローン資格取得研修	信用事業管理者・ 支店長研修 貸出管理回収の 法務と実務研修	自動車共済契約審査員養成研修 生命共済審査員養成研修 建物共済審査員養成研修 自動車共済契約者対応担当者 基礎研修 ＬＡ養成研修

組合員学習・研修体系例

<table>
<tr><th colspan="3">組合員</th><th rowspan="2">求められる農業者・組合員像</th><th rowspan="2">学習・研修の
基本目標と内容</th></tr>
<tr><th>営農活動</th><th>組合員・青年部</th><th>女性部</th></tr>
<tr><td>経営移譲時代</td><td rowspan="3">JA組合員・総代、農業生産者組織リーダー</td><td>エルダー</td><td>○経営移譲の知識、方法を理解し、適切に行なうことが出来る</td><td>○経営継承手続の理解
○法律・税制の理解</td></tr>
<tr><td rowspan="3">経営継承・中堅担い手時代</td><td>ミドル</td><td>○適切な経営者能力を有する
○家族の理解を得た経営が出来る
○農業人としてのマナーがある
○適切なコミュニーケーションがある
○組織活動能力がある
○地域農業のリーダーの自覚がある
○新たな企画に参加力がある
○農業環境の適応力がある
○企業的経営管理の遂行が出来る
○ＪＡ事業の理解と利用がある
○ＪＡ事業に参画が出来る
○地域の農業者との連携が出来る
○関係機関との連携が図れる</td><td>○ＪＡ理念と役割の理解
○ＪＡ事業の推進と参画能力
○ＪＡ事業利用の理解
○経営管理能力の習得
○組織活動の推進力
○リーダーシップの習得
○地域農業の改革力
○目的組織活動の活性化
○経営者の権利と義務
○食育、安全・安心
○女性パートナーの経営参画</td></tr>
<tr><td rowspan="2">JA青年部活動</td><td rowspan="2">フレッシュミズ</td><td rowspan="2">○基本的経営技術を有する
○農業者としてのビジョンを有する
○組織活動の遂行能力を有する
○地域農業を踏まえ対応力を有する</td><td rowspan="2">○農業者の心構えの整理
○農業者のマナーの修得
○農業技術の習得
○農業環境の動向を理解
○地域農業の動向を理解
○地域の仲間意識
○組織活動の意義を理解
○地域農業のオペレーターの自覚
○コミュニケーションの修得</td></tr>
<tr><td>就農時代</td><td>4Hクラブ</td></tr>
</table>


対象者別活動
対象者別研修
ＪＡカレッジが行う研修
各種サークル活動　自主的活動
エルダー活動
女性部活動
フレッシュミズ活動
４Ｈクラブ活動
青年部活動
振興会作目別部会活動
ＪＡ総代正組合員活動
女性部研修
青年部研修
新規就農者研修
経営継承者研修
振興会・部会研修
ＪＡ総代研修
ＪＡ准組合員研修
○農業経営継承者研修
○ＪＡ青年部リーダー養成研修
○ＪＡ青年部次期リーダー養成研修
○女性農業者生き活き研修
○新規就農者研修

Ⅲ．研修コース別開催内容

A01

常　勤　理　事　研　修

1泊2日
計画50名

受講対象　常勤理事（組合長、副組合長、専務、常務）、参事、本部長

参加料　102,000円
内訳　受講料85,000円　施設利用料2,400円　宿泊食事費6,600円　共同研究費8,000円

最低開催人数
―

日　　程

今後の新型コロナウイルス感染状況により、日程・会場等を変更する場合があります。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日（曜）								6（水）～7（木）				

ＪＡ常勤役員のための研修コース
ＪＡ１名以上の受講を推進する

研修のねらい

食料・農業・農村基本法の見直し等、農業、ＪＡをめぐる情勢の変化を的確に捉え、ＪＡ経営のトップマネジメントとして、対応方策を検証し、経営者能力の一層の向上、自己錬磨を図る。

研 修 の 内 容

第30回ＪＡ北海道大会では、農協改革議論の結果を踏まえさらなる自己改革の推進や「力強い農業の実現」等を決議したなか、農業所得の増大やＪＡ運営の好循環に資する講師・カリキュラムを構成する。

研修プログラムと講師

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
第１日目				昼食	オリエンテーション	開講式	農業・農政を取りまく情勢 外部講師	リーダーに求められるトップマネジメント 外部講師	共同研究
第２日目	JA等優良事例報告 系統講師		JAの経営戦略 外部講師	昼食					

A02

非常勤理事研修
（ＪＡ北海道中央会と共催）

2泊3日
計画各30名
（申込順）

受講対象　非常勤の理事

参加料　97,800円
内訳　受講料75,000円　施設利用料3,600円　宿泊食事費14,200円　共同研究費5,000円

最低開催人数
―

日程

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日（曜）											18(火) ～ 20(木)	

非常勤理事の必須研修　「人と情報の交流の場」を通して自らが学ぶ

研修のねらい

今年度のテーマ　「近時の企業不祥事から学ぶ、役員の責任と『ガバナンス』を機能させる視点」

1．ＪＡ経営に係る責任遂行に必要な大局的視点と心構えを学びます。
2．健全な危機意識を醸成し、協同組合の価値向上に向け組織を導くための決断力と人間力を学びます。
3．企業トップとの対話から、その理念・情熱に触れることで、経営者としての成長を促します。

研修の内容

1．グループ討議による相互学習を通じて、全道的な人脈形成を図ります。
2．時流にあった研修テーマの研究・演習により、実践的な課題解決力を養います。
3．現役の経営者との対話から薫陶を体感し、ＪＡ理事としての気づきと行動変容を促します。

研修プログラムと講師

	9:00 10:00 11:00	12:00	13:00 14:00	15:00 16:00	17:00	
第１日目		オリエンテーション	昼食	当面する農業・JAの情勢 JAカレッジ	理事の役割と期待される行動 グループ討議 ＪＡ北海道中央会	共同研究
第２日目	不祥事はなぜ起きるのか 未然防止と役員の役割 グループ討議 ＪＡ北海道中央会		昼食	不祥事発生のメカニズムとＪＡ役員の対応 グループ討議 ＪＡ北海道中央会	取り組みの事例 企業経営者	夕食
第３日目	振り返りと今後の行動計画 グループ討議 ＪＡ北海道中央会		昼食			

A03

新任常勤理事研修

1泊2日
計画15名
（申込順）

受講対象　令和５年度～令和６年度に新たに就任した組織代表の常勤理事

参加料　74,000円
内訳　受講料60,000円　施設利用料2,400円　宿泊食事費6,600円　共同研究費5,000円

最低開催人数
―

日程

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日（曜）						5（木）～6（金）						

新たに就任した組織代表常勤理事としての役割・責務の再認識とネットワークづくり

研修のねらい

常勤理事就任にあたり、農業を取り巻く情勢やＪＡの経営環境の変化を学び、ＪＡトップとしての役割発揮等について、相互討議を通じて考察するとともに、全道のネットワークづくりを図る。

研修の内容

☆当面する農業・ＪＡをめぐる情勢
☆道内企業の経営実践事例報告
☆常勤理事としての役割・責務（相互討議）

研修プログラムと講師

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
第１日目			オリエンテーション	昼食	最近の農業・農政をめぐる情勢 ＪＡカレッジ		道内企業の経営実践の取組み 道内企業	共同研究	
第２日目	常勤理事としての役割責務（相互討議） ＪＡカレッジ			昼食					

A04

新任理事（１年目）研修

受講対象	令和５年度～令和６年度に新たに就任し、本講座を受講したことのない非常勤理事
参加料	57,800円
内訳	受講料35,000円　施設利用料3,600円　宿泊食事費14,200円　共同研究費5,000円

2泊3日
計画各30名
（申込順）

最低開催人数
―

日程

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日（曜）								①13(水)～15(金)	②2(月)～4(水)	③27(月)～29(水)		

新任理事の基本研修「人と情報の交流の場」を通じて自らが学ぶ

研修のねらい

理事としての職責の自覚と、農業協同組合運動者としての使命を踏まえ、ＪＡ経営に関する基本的な知識と技能の習得をはかる。

研修の内容

☆当面する農業・ＪＡをめぐる情勢
☆ＪＡにおけるコンプライアンス（相互討議）
☆これからのＪＡ運営を考える
☆財務管理の要点
☆農協法と理事の職責

研修プログラムと講師

	9:00 10:00 11:00	12:00	13:00 14:00	15:00 16:00	17:00	
第１日目	オリエンテーション	昼食	当面する農業・ＪＡをめぐる情勢 ＪＡカレッジ	ＪＡにおけるコンプライアンス（相互討議） ＪＡカレッジ	共同研究	
第２日目	財務管理の要点 ＪＡカレッジ	昼食	財務管理の要点 ＪＡカレッジ	これからのＪＡ運営を考える 大学講師	夕食	
第３日目	農協法と理事の職責 ＪＡカレッジ	昼食				

A05

新任監事（１年目）研修

受講対象　令和５年度～令和６年度に新たに就任した監事（員外監事含む）	３泊４日 計画各20名 （申込順）
参加料　61,600円　（11月から翌４月までは１泊当たり500円が加算されます） 内訳　受講料32,000円　施設利用料4,800円　宿泊食事費19,800円　共同研究費5,000円	最低開催人数 —

日　程

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日（曜）				①9（火） ～ 12（金）					②9（月） ～ 12（木）			

新任監事としての基本知識を学ぶ

研修のねらい

監事就任にあたり、農業情勢やＪＡの概要･経営環境･法律関係ならびに監査の要点について学習する。

研修の内容

☆当面する農業・ＪＡをめぐる情勢
☆農協法と監事の職責
☆財務管理の要点
☆監事監査の要点

研修プログラムと講師

	9:00 10:00 11:00	12:00	13:00 14:00 15:00	16:00 17:00	
第１日目	オリエンテーション	昼食	当面する農業・ＪＡをめぐる情勢 ＪＡカレッジ	財務管理の要点 ＪＡカレッジ	共同研究
第２日目	農協法と監事の職責 ＪＡカレッジ	昼食	財務管理の要点 ＪＡカレッジ		夕食
第３日目	財務管理の要点 ＪＡカレッジ	昼食	監事監査の要点 ＪＡカレッジ		夕食
第４日目	監事監査の要点 ＪＡカレッジ	昼食			

A06

新任監事（２年目）研修

受講対象	令和４年度～令和５年度に就任し、原則として前年度までに本校の新任監事（１年目）研修を受講した監事（員外監事を含む）	２泊３日 計画15名 （申込順）
参加料 内訳	52,800円 受講料30,000円　施設利用料3,600円　宿泊食事費14,200円　共同研究費5,000円	最低開催人数 —

日　程

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日（曜）										22(水) ～ 24(金)		

事例研究を通じて実践力を磨き、監査技能のスキルアップを図る

研修のねらい

一年間の監事としての実務経験を踏まえ、今後どのような点に留意しながら職務を果たすべきか、事例等を交じえて学習する。

研修の内容

☆当面する農業・ＪＡをめぐる情勢
☆事例研究

研修プログラムと講師

	9:00 10:00 11:00	12:00	13:00 14:00	15:00 16:00	17:00	
第１日目	オリエンテーション	昼食	当面する農業・ＪＡをめぐる情勢 ＪＡカレッジ	貸出金自己査定の検証にかかる着眼点（１） ＪＡカレッジ	共同研究	
第２日目	貸出金自己査定の検証にかかる着眼点（２） ＪＡカレッジ	昼食	法務の実務 ＪＡカレッジ		夕食	
第３日目	財務管理の実務 ＪＡカレッジ	昼食				

A07

信用事業担当理事・部長研修
（ＪＡ北海道信連と共催）

1泊2日
計画30名
（申込順）

受講対象　信用事業担当理事・担当部長（企画・共済・営農経済等の担当理事・担当部長も参加可能）

参加料　48,000円
内訳　受講料29,000円　施設利用料2,400円　宿泊食事費6,600円　共同研究費5,000円

最低開催人数
10名

日程

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日（曜）				18(木) ～ 19(金)								

環境変化に対応できる経営理論の習得とＪＡ信用事業に求められる内部管理態勢の向上

研修のねらい

経営理論（フレームワーク）を通じて不確実性の高い経営環境に対応できる目標を達成するためのシナリオ（経営戦略）の策定力、並びにその実践を支える内部統制の管理態勢力を高める知識・スキルを習得する。

研修の内容

1．内部統制
・三者要請検査の実務
・不祥事未然防止体制の構築
2．経営管理
・経営環境と経営戦略
・戦略策定のためのフレームワーク

研修プログラムと講師

	9:00 9:30	11:00	12:00 13:00	14:00 15:00 16:00 17:00	
第１日目	オリエンテーション	1．ＪＡに求められるコンプライアンス 2．三者要請検査の実務 農林中金アカデミー（弁護士）	昼食	3．検査事例（経営管理、信用リスク、反社マネロン等） 4．不祥事未然防止体制の構築（不祥事件の実例、事件発生メカニズム） 農林中金アカデミー（弁護士）	共同研究
第２日目	1．オリエンテーション 2．今日の経営環境の特徴と経営戦略の役割 3．戦略の基本 農林中金アカデミー（産業能率大学）		昼食	4．戦略策定のための戦略フレームワークの紹介（環境分析、ドメイン、成長戦略、競争戦略等） 5．まとめ 農林中金アカデミー（産業能率大学）	

（注）研修内容や研修プログラムについては、変更となる場合があります。

B01

部　長　研　修

1泊2日
計画30名
（申込順）

受講対象　部長・副部長・基幹支店長

参加料　94,000円
内訳　受講料80,000円　施設利用料2,400円　宿泊食事費6,600円　共同研究費5,000円

最低開催人数
10名

日　程

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日（曜）				①1(月)～2(火)			②21(月)～22(火)					

組織の上位概念構成力と人間力のあるリーダーシップを養う

研修のねらい

「力強い農業」「豊かな魅力ある農村」の実現に向けて、組織の方向性を示し、周囲を導いていくための考え方や実践する力を養う

研修の内容

☆農業をめぐる情勢と課題
☆ＳＤＧｓの取り組み
☆サプライチェーン分析
☆将来のリスク分析（ＡＢＣＤプロセス・バックキャスト）
☆ＳＤＧｓへのチャレンジ
☆未来につなぐプランの策定（戦略上位概念）
☆部門長としてのリーダーシップ

研修プログラムと講師

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	
第１日目		オリエンテーション	農業をめぐる情勢と課題 ＪＡカレッジ	昼食	ＳＤＧｓについて ビジネスコンサルタント	サプライチェーン分析 ビジネスコンサルタント	将来のリスク分析 ビジネスコンサルタント	共同研究		
第２日目	将来のリスク分析 ビジネスコンサルタント	SDGsの位置づけとイノベーション ビジネスコンサルタント	戦略上位概念 ビジネスコンサルタント	昼食	MDCVと取り組み方策の検討 ビジネスコンサルタント	部門長としてのリーダーシップ ビジネスコンサルタント				

B02

課　長　研　修　Ⅱ

受講対象　課長（支店長）	2泊3日 計画30名 （申込順）
参加料　91,800円 内訳　受講料70,000円　施設利用料3,600円　宿泊食事費13,200円　共同研究費5,000円	最低開催人数 10名

日　程

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日（曜）				①22(月) ～ 24(水)			②15(火) ～ 17(木)					

戦略的思考の再構築力・変革マインドを醸成する手法を学ぶ

研修のねらい

起こりつつある環境の変化を認識し、今後の経営を成功へと導く経営計画構想を明確にする方法を養う。

研修の内容

☆農業・ＪＡをめぐる情勢と課題
☆戦略的思考による戦略策定プロセスの習得と事例研究
☆課題の明確化とクロスＳＷＯＴ分析法による課題分析
☆戦略シナリオの立案演習

研修プログラムと講師

9:00　10:00　11:00　12:00 13:00　14:00　15:00　16:00　17:00						
第１日目	オリエンテーション	農業・ＪＡをめぐる情勢と課題 ＪＡカレッジ	昼食	1．戦略的思考とは 2．戦略策定プロセスの習得 日本経営協会	共同研究	
第２日目	3．事例研究 （ロジックツリーによる課題の明確化、クロスＳＷＯＴ分析法） 日本経営協会		昼食	4．課題の明確化とクロスＳＷＯＴ分析法による課題分析 日本経営協会	夕食	
第３日目	5．戦略シナリオの立案演習 日本経営協会		昼食	5．戦略シナリオの立案演習(続き) 日本経営協会		

B03

課　長　研　修　Ⅰ
（ＪＡ北海道信連と共催）

2泊3日
計画各30名
（申込順）

受講対象　初任課長（初任支店長）（信用事業担当のほか企画・共済・営農経済等の担当・事業管理者も参加可能）

参加料　68,800円　（11月から翌４月までは１泊当たり500円が加算されます）
内訳　受講料47,000円　施設利用料3,600円　宿泊食事費13,200円　共同研究費5,000円

最低開催人数
10名

日　程

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日（曜）			①17(月) ～ 19(水)			②２(月) ～ ４(水)	③７(月) ～ ９(水)	④25(月) ～ 27(水)				

顕在化している課題や問題を解決する手法を学ぶ

研修のねらい

チームリーダーとしての役割や求められる能力の全体像を捉え、メンバーを統率してチームとして日頃から顕在化している課題に取り組み、問題を解決する力を養う。

研修の内容

☆チームリーダーの役割と求められる能力の確認
☆問題解決のスキームの理解
☆問題解決に必要なスキルを演習を通じて習得する
☆農業・ＪＡをめぐる情勢と課題
☆職場のメンタルヘルス対策

研修プログラムと講師

	9:00 10:00 11:00	12:00	13:00 14:00	15:00 16:00 17:00	
第１日目	オリエンテーション	昼食	農業・ＪＡをめぐる情勢と課題 ＪＡカレッジ	職場のメンタルヘルス対策 北農健保組合	共同研究
第２日目	１．はじめに ２．問題解決プロセス ①チームリーダーの役割と求められる能力 農林中金アカデミー（産業能率大学）	昼食	２．問題解決プロセス（続き） ② チームリーダーの問題解決力 ３．問題状況の把握 農林中金アカデミー（産業能率大学）		夕食
第３日目	４．課題形成（解決アプローチ） ５．解決策の策定 農林中金アカデミー（産業能率大学）	昼食	５．解決策の策定（続き） ６．まとめ（今後の問題解決に向けて） 農林中金アカデミー（産業能率大学）		

B04

係　長　研　修
（ＪＡ北海道信連と共催）

2泊3日
計画各35名
（申込順）

受講対象	係長（信用事業担当のほか企画･共済･営農経済等の担当･事業管理者も参加可能）
参加料	68,800円　（11月から翌４月までは１泊当たり500円が加算されます）
内訳	受講料47,000円　施設利用料3,600円　宿泊食事費13,200円　共同研究費5,000円

最低開催人数
10名

日　程

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日（曜）			①5(水)～7(金)		②5(月)～7(水)		③23(水)～25(金)	④18(月)～20(水)				

複眼的思考により問題発見力を強化する手法を学ぶ

研修のねらい

現場の当たり前に着目して、埋没している「問題」を複眼的思考により発見し、定性調査によりその重要性を検証する力を養う。

研修の内容

【農林中金アカデミーの信用事業中堅層職員研修（問題発見力編）のプログラムに準拠】

☆係長としての使命・役割を知る
☆問題発見手法の習得、問題としての確からしさを検証し共有する
☆農業・ＪＡをめぐる情勢と課題

研修プログラムと講師

	9:00 10:00 11:00	12:00	13:00 14:00	15:00 16:00 17:00		
第１日目	オリエンテーション	昼食	農業・ＪＡをめぐる情勢と課題 ＪＡカレッジ	係長としての使命・役割 ＪＡカレッジ	共同研究	
第２日目	1．現場の当たり前を疑う 農林中金アカデミー（産業能率大学）	昼食	1．現場の当たり前を疑う(続き) 農林中金アカデミー（産業能率大学）		夕食	
第３日目	2．現場を観察し仮説を作る 3．仮説の確からしさを検証する 農林中金アカデミー（産業能率大学）	昼食	4．問題の共有化へ向けた投げかけ方 農林中金アカデミー（産業能率大学）			

B05

中堅層職員研修Ⅱ

2泊3日
計画各30名
（申込順）

受講対象	原則として入組８年目以降
参加料	68,800円　（11月から翌４月までは１泊当たり500円が加算されます）
内訳	受講料47,000円　施設利用料3,600円　宿泊食事費13,200円　共同研究費5,000円

最低開催人数
10名

日程

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日（曜）			①11(火)～13(木)		②28(水)～30(金)		③２(水)～４(金)			④15(水)～17(金)		

部下・後輩の主体性を引き出す育成力・調整力を学ぶ

研修のねらい

部下・後輩の主体性を引き出し、仕事を前向きに取り組めるよう支援する力を養う。

研修の内容

☆農業・ＪＡをめぐる情勢と課題
☆メンタルヘルス
☆コーチングの基本・アプローチ方法
☆主体性の引き出し方
☆相談解決コーチング・トレーニング

研修プログラムと講師

	9:00 10:00 11:00	12:00	13:00 14:00	15:00 16:00 17:00		
第１日目		オリエンテーション	昼食	農業・ＪＡをめぐる情勢と課題 ＪＡカレッジ	メンタルヘルス 北農健保組合	共同研究
第２日目	コーチングの基本･アプローチ方法 日本経営協会		昼食	コーチングの基本･アプローチ方法	主体性の引き出し方 日本経営協会	夕食
第３日目	相談解決コーチング･トレーニング 日本経営協会		昼食	相談解決コーチング・トレーニング 日本経営協会		

B06

中堅層職員研修Ⅰ
（ＪＡ北海道信連と共催）

2泊3日
計画各30名
（申込順）

受講対象　原則として入組５年目（信用事業担当のほか企画･共済･営農経済等の担当者も参加可能）

参加料　72,800円
内訳　受講料51,000円　施設利用料3,600円　宿泊食事費13,200円　共同研究費5,000円

最低開催人数
10名

日程

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日（曜）		①20(月)～22(水)		②24(水)～26(金)	③21(水)～23(金)							

相手に伝わる文書の作成・発話の方法を学ぶ

研修のねらい

基本的な論理的思考を学び、その応用として文書作成や発話での相手へ伝える力を養う。

研修の内容

【農林中金アカデミーの信用事業中堅層職員研修（論理的思考編）のプログラムに準拠】
☆論理的思考（ロジック・ツリー）の基本を知る
☆論理的な文章の作成トレーニング
【農林中金アカデミーの信用事業中堅層職員研修（発信力・受信力編）のプログラムに準拠】
☆プレゼンテーションの基本を知る
☆プレゼンテーションのトレーニング
☆農業・ＪＡをめぐる情勢と課題

研修プログラムと講師

	9:00	10:00	11:00	12:00 13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
第１日目	オリエンテーション	農業･JAをめぐる情勢と課題 ＪＡカレッジ	1．論理的思考 ①論理的な文章 ～帰納法的アプローチ～ 農林中金アカデミー（産業能率大学）	昼食	1．論理的思考（続き） ②論理的な文章 ～演繹法的アプローチ～ 農林中金アカデミー（産業能率大学）			共同研究
第２日目	2．論理的な文章の作成トレーニング 農林中金アカデミー（産業能率大学）			昼食	3．プレゼンテーション ①プレゼンテーションの基本 ②簡潔で分かりやすい伝え方～ロジカル・プレゼンテーション～ 農林中金アカデミー（産業能率大学）			夕食
第３日目	3．プレゼンテーション(続き) ③プレゼンテーションのトレーニング 農林中金アカデミー（産業能率大学）			昼食	3．プレゼンテーション(続き) 農林中金アカデミー（産業能率大学）			

B07

若 年 層 職 員 研 修

2泊3日
計画各30名
（申込順）

受講対象　原則として入組３年目

参 加 料　68,800円
内 訳　受講料47,000円　施設利用料3,600円　宿泊食事費13,200円　共同研究費5,000円

最低開催人数
10名

日　　程

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日（曜）		①8（水）～10（金）		②29（月）～31（水）			③28（月）～30（水）					

やる気を高めるセルフ・モチベーション力を学ぶ

研修のねらい

ポジティブ思考により自分自身のモチベーションを高める方法を養う。

研 修 の 内 容

☆農業・ＪＡをめぐる情勢と課題
☆ビジネスマナー
☆モチベーション・マネジメント

研修プログラムと講師

	9:00 10:00 11:00	12:00	13:00 14:00	15:00 16:00	17:00	
第１日目		オリエンテーション	昼食	農業・ＪＡをめぐる情勢と課題 ＪＡカレッジ	ビジネスマナー ＪＡカレッジ	共同研究
第２日目	モチベーションのメカニズム モチベーション・マネジメント① ポジティブ感情を高める方法 日本マンパワー		昼食	モチベーション・マネジメント① ポジティブ感情を高める方法 日本マンパワー		夕食
第３日目	モチベーション・マネジメント② 達成感を高める方法 日本マンパワー		昼食			

B08

新採用職員フォローアップ研修

2泊3日
計画各35名
（申込順）

受講対象　入組後２年目の職員

参加料　68,800円　（11月開催は１泊当たり500円が加算されます）
内訳　受講料47,000円　施設利用料3,600円　宿泊食事費13,200円　共同研究費5,000円

最低開催人数
10名

日程

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日（曜）		①29(水) ～ 31(金)				②25(水) ～ 27(金)		③27(水) ～ 29(金)				

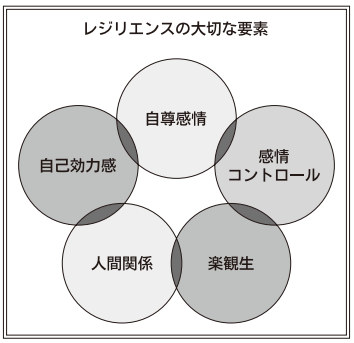
１年間の社会経験を踏まえ「折れない心」「立ち直る力」を学ぶ

研修のねらい

業務上のストレス･失敗など様々な困難に直面した際に、その逆境を乗り越え折れない心（復元力）を養う。

研修の内容

☆農業・ＪＡをめぐる情勢と課題
☆メンタルヘルス（セルフケア）
☆レジリエンス（折れない心・立ち直る力）の基本を知る
☆レジリエンスを高める技術を体得する



研修プログラムと講師

	9:00 10:00 11:00	12:00	13:00 14:00 15:00 16:00	17:00	
第１日目	オリエンテーション	昼食	農業・ＪＡをめぐる情勢と課題 ＪＡカレッジ メンタルヘルス 北農健保組合	共同研究	
第２日目	1．レジリエンスとは 2．認知の歪みについて 3．レジリエンスを構成する８要素 4．レジリエンスを築く10の方法 日本経営協会	昼食	5．感情コントロールの必要性となぜ心が穏やかにならないのか 6．人のレジリエンスに必要なタイプについて 7．人の外的出来事の受け取り方について 日本経営協会	夕食	
第３日目	8．レジリエンスにおける底打ちについて 9．レジリエンスにおける回復段階について 10．教訓化段階のアプローチについて 日本経営協会	昼食			

B09

新採用職員研修

4泊5日
計画各50名
（申込順）

受講対象　新規採用の職員

参加料　89,400円
内訳　受講料50,000円　施設利用料6,000円　宿泊食事費28,400円　共同研究費5,000円

最低開催人数
―

日程

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日（曜）	①8(月)～12(金) ②15(月)～19(金) ③22(月)～26(金)											24(月) ～ 28(金)

令和６年３月開催は、３／25(月)～３／29(金)となります。　（令和７年春のご案内）

ＪＡ職員としての基本知識と職場ルールの習得

研修のねらい

協同組合としての理念・組織を理解し、社会人としての基本を身に付ける。

研修の内容

☆農業協同組合と北海道農業　☆新社会人の健康管理　☆コンプライアンスの基本
☆事業論（営農生活指導・信用・共済・購買・販売）
☆ビジネスマナー　☆文書実務

研修プログラムと講師

	9:00 10:00 11:00	12:00	13:00 14:00	15:00 16:00	17:00	
第１日目	オリエンテーション	昼食	農業協同組合と北海道農業 ＪＡカレッジ	ビジネスマナー① ＪＡカレッジ	共同研究	
第２日目	営農生活指導論 ＪＡカレッジ	昼食	ビジネスマナー② ＪＡカレッジ	文書実務 ＪＡカレッジ	夕食	
第３日目	信用事業論 ＪＡカレッジ	昼食	ビジネスマナー③ ＪＡカレッジ	新社会人の健康管理 北農健保組合	夕食	
第４日目	共済事業論 ＪＡカレッジ	昼食	購買事業論 ＪＡカレッジ	コンプライアンスの基本 ＪＡカレッジ	夕食	
第５日目	販売事業論 ＪＡカレッジ	昼食				

C01

人材育成基礎研修

4泊5日
計画25名
（申込順）

受講対象　ＪＡカレッジ卒以外の採用者及び中途採用者

参加料　**84,400円**
内訳　受講料45,000円　施設利用料6,000円　宿泊食事費28,400円　共同研究費5,000円

最低開催人数
―

日程

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日（曜）									9(月) ～ 13(金)			

ＪＡ職員として総合的な業務知識の習得

研修のねらい

総合的な業務知識を集中的に習得することにより、現行業務の再確認とあわせ、今後業務の中心的役割を担う職員として、総合力の向上を図る。

研修の内容

科目	講義数	講義の内容	講師
農協運動論	1	我々を取り巻く環境と農協運動のあり方	ＪＡカレッジ
協同組合論	4	協同組合の理念・本質	ＪＡカレッジ
農協法	4	農協法概論と実務とのかかわり	ＪＡカレッジ
営農生活指導事業論	4	営農生活指導事業の理論と実務(組合員教育、北海道農業の現状と方向)	ＪＡカレッジ
信用事業論	4	信用事業の理論と実務	ＪＡカレッジ
共済事業論	4	共済事業の理論と実務	ＪＡカレッジ
購買事業論	4	購買事業の理論と実務	ＪＡカレッジ
販売事業論	4	販売事業の理論と実務	ＪＡカレッジ
コンプライアンス	2	ＪＡの事業活動におけるコンプライアンスの実践	ＪＡカレッジ
課外		開講式（オリエンテーション）	（ＪＡカレッジ）
合計	31		

研修プログラムと講師

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	
第１日目			自己紹介 オリエンテーション	昼食	農協運動論 JAカレッジ	コンプライアンス ＪＡカレッジ		農協法 JAカレッジ	共同研究	
第２日目	協同組合論 ＪＡカレッジ			昼食	協同組合論 JAカレッジ	営農生活指導事業論 ＪＡカレッジ		農協法 JAカレッジ	夕食	
第３日目	営農生活指導事業論 ＪＡカレッジ		販売事業論 JAカレッジ	昼食	販売事業論 ＪＡカレッジ			農協法 JAカレッジ	夕食	
第４日目	共済事業論 ＪＡカレッジ			昼食	共済事業論 JAカレッジ	信用事業論 ＪＡカレッジ		農協法 JAカレッジ	夕食	
第５日目	信用事業論 ＪＡカレッジ		購買事業論 JAカレッジ	昼食	購買事業論 ＪＡカレッジ					

C02

女性職員キャリアアップ研修
（①集合研修 ②Web研修）

2泊3日
計画各15名
（申込順）

受講対象 原則として入組10年目以降の女性職員

①参加料 **46,800**円 内訳 受講料25,000円 施設利用料3,600円 宿泊食事費13,200円 共同研究費5,000円
②参加料 **26,000**円 内訳 受講料25,000円 発送荷造料1,000円

最低開催人数 10名

日程

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日（曜）				①16(火)～18(木)					②16(月)～17(火)			

ＪＡの職場環境、業務の一層の活性化に向けた女性職員のキャリア、スキルの習得

研修のねらい

これまでのキャリアを振り返るとともに自分の役割を確認し、これからのキャリア形成について考えることによってモチベーション向上を図る。また、自己や職場の問題を解決に導くために必要なスキルを学ぶ。

研修の内容

☆農業・ＪＡをめぐる情勢と課題
☆変化を力に変えて成長するために　自己のキャリアの「棚卸」と「振返り」
☆逆境を乗り越える力を開発する　自己の思考スタイルの検証
☆課題解決力の向上
☆ワークライフバランスとキャリアビジョン、職場における問題の発見と解決策

研修プログラム①【集合研修】と講師

	9:00 10:00 11:00	12:00 13:00	14:00 15:00 16:00 17:00		
第１日目	オリエンテーション	昼食	農業・ＪＡをめぐる情勢と課題 / 変化を力に変えて成長していくために逆境を乗り越える力を開発する・ポジティブ感情と思考の柔軟性 / 演習 ＪＡカレッジ	共同研究	
第２日目	思考スタイルを変えてみよう①・先入観と固定概念・非生産的行動につながる思考スタイルとは / 演習 ＪＡカレッジ	昼食	思考スタイルを変えてみよう②・自分の「強み」を知る・自分の「強み」を職場で生かすには / 演習 ＪＡカレッジ	夕食	
第３日目	課題解決力の向上・職場内の問題の洗い出しとその解決 / ライフワークバランスとキャリアビジョン ＪＡカレッジ	昼食			

研修プログラム②【オンライン研修】と講師

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
第１日目	オリエンテーション	農業・ＪＡをめぐる情勢と課題	変化を力に変えて成長していくために逆境を乗り越える力を開発する ・ポジティブ感情と思考の柔軟性	昼食	（続き）	演習	思考スタイルを変えてみよう① ・先入観と固定概念 ・非生産的行動につながる思考スタイルとは	演習	
		ＪＡカレッジ			ＪＡカレッジ				
第２日目	思考スタイルを変えてみよう② ・自分の「強み」を知る ・自分の「強み」を職場で生かすには		演習	昼食	課題解決力の向上 ・職場内の問題の洗い出しとその解決		ライフワークバランスとキャリアビジョン		
	ＪＡカレッジ				ＪＡカレッジ				

C03

ポジティブ・メンタルヘルス研修

1泊2日
計画15名
（申込順）

受講対象　各部門の管理者、現場の監督者

参加料　39,000円
内訳　受講料25,000円　施設利用料2,400円　宿泊食事費6,600円　共同研究費5,000円

最低開催人数
10名

日程

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日（曜）			13(木) ～ 14(金)									

「メンタルヘルス」の基本と対策を学ぶ

研修のねらい

本研修では、労務管理上に大きな問題となる、職場におけるメンタルヘルス対策を中心に、不調者の早期発見や対処法のみならず、よりポジティブなメンタルヘルス手法を体系的に学びます。

「ポジティブ・メンタルヘルス」とは、コミュニケーション力を強化するために「コーチング」を活用することで管理監督者がメンタルヘルスの予防及びモチベーションアップ等を実践的に学びます。

研修の内容

☆「働き方改革」を支える管理監督者の役割を明確にする
☆ストレス社会の現状と課題を把握する
☆不調者の早期発見および対処法を学ぶ
☆メンタルケアの基本
　・セルフケア（自己管理）
　・ラインケア（上司が部下のメンタル面を支援）
☆「レジリエントレーニング」を活用する
☆ケーススタディー演習
☆コーチングの基本と実践コーチング演習
☆具体的なアクションプランの作成

研修プログラムと講師

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
第1日目	オリエンテーション	職場における心と体のバランスづくり 北農健保組合	「働き方改革」を支える管理監督者の役割 株式会社 サポルテ	昼食	メンタルヘルスの基本を学ぶ 株式会社 サポルテ			共同研究	
第2日目	①メンタルヘルスを支えるレジリエンスを強化する ②メンタルヘルスを促進するコーチングを学ぶ 株式会社 サポルテ			昼食	ケーススタディー＆実践演習 株式会社 サポルテ				

C04

毒劇物取扱資格取得準備講習

受講対象　今年度国家試験を受験する者	4泊5日 計画20名 （申込順）
参加料　57,400円 内訳　受講料25,000円　施設利用料6,000円　宿泊食事費26,400円	最低開催人数 —

日程

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日（曜）				1（月） ～ 5（金）								

国家資格の取得をより確実なものに
徹底した演習を通じて、弱点科目の発見と克服

研修のねらい

国家資格取得に向けて勉強中の職員を対象として、合格をより確実なものにするために実施します。詳細な解説による基礎的理解の向上と合わせ、徹底した演習に基づく弱点科目の発見と克服をねらい、さらに試験日までの学習ポイントを明確にします。

研修の内容

☆基礎知識の確認　法規、化学、性質・貯蔵、実地の各分野における基礎知識の整理と学習ポイントの明確化
☆模擬試験・演習　過去の出題を中心に組み立てた模擬試験・演習の実施、及び解答・解説

研修プログラムと講師

	9:00 10:00 11:00	12:00	13:00	14:00 15:00 16:00 17:00	
第1日目		オリエンテーション	昼食	基礎化学 JAカレッジ	夕食
第2日目	基礎化学 JAカレッジ		昼食	基礎化学 JAカレッジ	夕食
第3日目	基礎化学　法規 JAカレッジ		昼食	法規　性質・貯蔵・実地 JAカレッジ	夕食
第4日目	性質・貯蔵・実地 JAカレッジ		昼食	性質・貯蔵・実地 JAカレッジ	夕食
第5日目	まとめ　過去問題演習 JAカレッジ	閉講式	昼食		

D01

財務管理実務研修

受講対象	経理部門担当者、内部監査担当者、子会社経理担当者、管理者
参加料	47,600円
内訳	受講料18,000円　施設利用料4,800円　宿泊食事費19,800円　共同研究費5,000円

3泊4日
計画15名
（申込順）

最低開催人数
—

日程

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日（曜）		13(月) ～ 16(木)										

財務分析の手法を習得し、ＪＡ経営に活かす研修

研修のねらい

財務分析（含む管理会計分析）の必要性と分析に係る手法・演習を通じ、受講ＪＡの決算関係書類等に基づく財務分析表を作成する（除く、ＢＩＳによる自己資本比率）。

研修の内容

☆財務諸表の見方と経営管理
☆財務分析の実施　　安定性の分析
　　収益性の分析
　　生産性分析
　　成長性の分析
　　法令等で規制がある経営諸比率
☆財務分析結果に基づく「問題の抽出」と「解決策の視点」検討

研修プログラムと講師

	9:00 10:00 11:00	12:00	13:00 14:00 15:00 16:00	17:00	
第1日目		オリエンテーション	昼食	ＪＡの財務管理の知識と要点 ＪＡカレッジ	共同研究
第2日目	ＪＡの財務管理の知識と要点 ＪＡカレッジ		昼食	財務管理実務 ＪＡカレッジ	夕食
第3日目	財務管理実務 ＪＡカレッジ		昼食	財務管理実務 ＪＡカレッジ	夕食
第4日目	財務管理実務 ＪＡカレッジ		昼食		

D02

農協簿記研修

2泊3日
計画15名
（申込順）

受講対象　全職員

参加料　36,800円
内訳　受講料15,000円　施設利用料3,600円　宿泊食事費13,200円　共同研究費5,000円

最低開催人数
—

日程

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日（曜）							1（火） ～ 3（木）					

農協簿記の基本的知識の習得

研修のねらい

簿記の基礎知識と各部門の経理処理について理解を深め、農協簿記に関する基本的な知識を習得する。

研修の内容

☆簿記の基礎知識（複式簿記の理論）
☆各部門（管理・信用・共済・購買・販売）の経理処理
☆決算処理の概要

研修プログラムと講師

	9:00 10:00 11:00	12:00	13:00	14:00 15:00 16:00	17:00	
第1日目		昼食	オリエンテーション	農協簿記 JAカレッジ	共同研究	
第2日目	農協簿記 JAカレッジ 経済事業の記帳（購買）	昼食	経済事業の記帳（販売） JAカレッジ 共済事業の記帳 信用事業の記帳		夕食	
第3日目	農協簿記 JAカレッジ 閉講式	昼食				

D03

ＪＡ広報・発信力強化担当者研修
（ＪＡ北海道中央会と共催）

1泊2日
計画15名
（申込順）

受講対象　広報業務担当の管理職及び専任担当者

参加料　34,000円
内訳　受講料20,000円　施設利用料2,400円　宿泊食事費6,600円　共同研究費5,000円

最低開催人数
10名

日程

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日（曜）					29(木) ～ 30(金)							

北海道民550万人と共に創る「力強い農業」と「豊かな魅力ある地域社会」のビジョンの実現に向け、ＪＡグループ北海道が一体となって広報力を強化する。

研修のねらい

第30回ＪＡ北海道大会の決議事項を踏まえ、組合員向けの広報のさらなる充実や地域住民や消費者に対してもより魅力ある地域の情報発信に向けて本研修では原稿の書き方や取材手法などの広報の基礎並びにメディア対応など効果的な手法を学ぶ。

研修の内容

☆ＪＡグループ北海道の広報活動について
☆広報対策の意義及び基本について
☆原稿・記事の作成、写真の撮り方、取材方法等について
☆メディア対応について
☆効果的な広報活動について
☆実践事例報告を踏まえた相互討議

研修プログラムと講師

	9:00 9:30	10:00	11:00	12:00 13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	
第１日目	オリエンテーション	ＪＡの広報およびメディアをめぐる情勢 外部講師		昼食	広報誌づくりと情報発信の実際について 外部講師			共同研究	
第２日目	ＪＡグループ北海道の広報活動 ＪＡ北海道中央会		実践事例報告相互討議	昼食					

D04

JA個別課題解決に向けたワークショップ型研修
（JA北海道中央会と共催）

2泊3日
計画15名
（申込順）

受講対象　部課長（人事労務担当部署ほか）

参加料　86,800円
内訳　受講料65,000円　施設利用料3,600円　宿泊食事費13,200円　共同研究費5,000円

最低開催人数
10名

日程

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日（曜）						18(水) ～ 20(金)						

課題を共有する仲間と共に、実践的な解決策を立案します

研修のねらい

今年度の研修テーマ「人は資産か、負債か、資本か～職員の採用と定着・育成について」

☆テーマを共有するＪＡが集い、最近のトレンド先進事例を学び、受講者の経験知と情報の交換を通して、具体的な対応策を立案します。

研修の内容

☆テーマに関する、自ＪＡの現状課題の分析や経営者の考える今後の方針について、受講者があらかじめ整理して参加するため、研修プログラムでは自ＪＡで取り組み可能な実践的な内容を中心に受講いただきます。

研修プログラムと講師

	9:00 10:00 11:00	12:00	13:00 14:00	15:00 16:00	17:00	
第１日目		オリエンテーション	昼食	採用活動の現状と問題点 グループ討議 ＪＡ北海道中央会	先進事例の取り組み グループ討議 ＪＡ北海道中央会	共同研究
第２日目	ＪＡが求める人材像と採用方針・戦略の策定 ＪＡ北海道中央会	昼食	説明会･面接･内定者フォローのポイント 外部講師	ＪＡらしい説明会、インターンシップの企画 ＪＡ北海道中央会	夕食	
第３日目	若手人材の定着・育成と事例紹介 ＪＡ北海道中央会	昼食	今後の実践にあたって ＪＡ北海道中央会			

E01

自動車共済契約審査員養成研修
（ＪＡ共済連北海道と共催）

2泊3日
計画各30名
（申込順）

受講対象　共済事業に従事する共済管理者及び共済担当者

参加料　30,800円
内訳　受講料9,000円　施設利用料3,600円　宿泊食事費13,200円　共同研究費5,000円

最低開催人数
10名

日程

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日（曜）			①19(水)～21(金)			②9(月)～11(水)						

自動車・自賠責共済契約業務に必要な知識の習得と、ライセンスを取得する準備研修

研修のねらい

自動車･自賠責共済にかかる引受審査･事務手続について、適正･迅速な処理を行うための業務知識を習得し、あわせて実務に必須となる「自動車共済契約審査員」資格取得の準備研修を目的とする。

研修の内容

☆自動車共済契約審査員制度と審査員の役割
☆自動車・自動車損害賠償責任共済の契約引受・異動・事務処理実務

研修プログラムと講師

	9:00 10:00	11:00 12:00	13:00 14:00	15:00 16:00 17:00	
第1日目	オリエンテーション	引受審査の役割、CS向上 / 自賠責共済に関する事項 ＪＡ共済連	昼食	自賠責共済に関する事項 ○新契約時･異動時･申込書セット冊管理･共済標章管理の留意点 Ｊ Ａ 共 済 連 / 自動車共済に関する事項 ○新契約時･異動時の留意点 Ｊ Ａ 共 済 連	共同研究
第2日目	自動車共済に関する事項 ○新契約時・異動時の留意点 Ｊ Ａ 共 済 連		昼食	自動車共済に関する事項 ○新契約時・異動時の留意点 Ｊ Ａ 共 済 連	夕食
第3日目	自動車共済に関する事項 ○新契約時・異動時の留意点 Ｊ Ａ 共 済 連		昼食		

E02

生命共済審査員養成研修
（ＪＡ共済連北海道と共催）

2泊3日
計画各30名
（申込順）

受講対象	共済事業に従事する共済管理者及び共済担当者
参加料	30,800円
内訳	受講料9,000円　施設利用料3,600円　宿泊食事費13,200円　共同研究費5,000円

最低開催人数
10名

日程

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日（曜）					①7（水）～9（金）		②16（水）～18（金）					

生命共済引受審査と支払査定に必要な知識の習得と、ライセンスを取得する準備研修

研修のねらい

生命共済の実務に必要な約款・引受・共済金支払等に関する幅広い業務知識を習得し、あわせて実務に必須となる「生命共済審査員」資格取得の準備研修を目的とする。

研修の内容

☆生命共済審査員制度と審査員の役割　☆生命総合・傷害共済の仕組・約款
☆生命総合・傷害共済の引受基準と契約引受処理実務　☆共済金支払処理と事務処理実務、事例演習

研修プログラムと講師

	9:00 10:00		11:00 12:00	13:00	14:00 15:00 16:00 17:00		
第1日目		オリエンテーション	ＪＡ審査員の役割・ＣＳ向上 ＪＡ共済連	昼食	生命・傷害共済の仕組・約款（引受編） ＪＡ共済連	共同研究	
第2日目	引受基準・契約引受処理（生命総合共済） ＪＡ共済連			昼食	生命・傷害共済の仕組・約款（支払編） ＪＡ共済連	夕食	
第3日目	生命・傷害共済の仕組・約款（支払編） ＪＡ共済連			昼食	生命・傷害共済の仕組・約款（支払編） ＪＡ共済連		

E03

建物共済審査員養成研修
（JA共済連北海道と共催）

3泊4日
計画各30名
（申込順）

受講対象	共済事業に従事する共済管理者及び共済担当者
参加料	41,600円　（11月から翌４月までは１泊当たり500円が加算されます）
内訳	受講料12,000円　施設利用料4,800円　宿泊食事費19,800円　共同研究費5,000円

最低開催人数
10名

日程

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日（曜）				①8(月)～11(木)				②11(月)～14(木)				

建物共済引受審査と支払査定に必要な知識の習得と、ライセンスを取得する準備研修

研修のねらい

建物共済の実務に必要な約款・引受・共済金支払等に関する幅広い業務知識を習得し、あわせて実務に必須となる「建物共済審査員」資格取得の準備研修を目的とする。

研修の内容

☆建物共済審査員制度と審査員の役割　☆建物共済の仕組・約款　☆自然災害、火災災害損害査定実務
☆共済金支払処理と事務処理実務、事例演習　☆建物共済の引受基準と契約引受処理実務

研修プログラムと講師

9:00　10:00　11:00　12:00　13:00　14:00　15:00　16:00　17:00

第1日目		オリエンテーション	JA審査員の役割・CS向上 JA共済連	昼食	建物共済の仕組・約款解釈 JA共済連		共同研究	
第2日目	建物共済の仕組・約款解釈 JA共済連			昼食	賠償責任共済の仕組・約款・引受 JA共済連	建物共済の引受・異動 JA共済連	夕食	
第3日目	建物共済の引受・異動 JA共済連			昼食	建物共済の引受・異動 JA共済連	建物共済の支払査定・事務手続き JA共済連	夕食	
第4日目	火災等損害査定の実務 JA共済連			昼食	自然災害損害査定の実務 JA共済連			

E04

自動車共済契約者対応担当者基礎研修
（ＪＡ共済連北海道と共催）

2泊3日
計画20名
（申込順）

受講対象	自動車共済の契約者対応業務に従事する共済管理者及び共済担当者、若しくは従事しようとする職員
参加料	30,800円
内訳	受講料9,000円　施設利用料3,600円　宿泊食事費13,200円　共同研究費5,000円

最低開催人数
10名

日　　程

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日（曜）					20(火) ～ 22(木)							

自動車事故におけるＣＳ向上を図るための必須研修

研修のねらい

ＪＡが担う契約者対応業務（事故受付、現場急行、事故相談、契約者フォロー等）の流れや内容を理解し、ＪＡ支所・支店担当者への支援や連合会ＳＣとの情報連携等、契約者対応業務に必要な知識を習得することを目的とする。

研修の内容

☆担当者の使命・役割
☆事故受付の概要・手続き
☆現場急行の概要・手続き
☆契約者サービスの概要
☆コンプライアンス
☆自動車・自賠責共済の基礎知識
☆アクションプランニング
自ＪＡの目指すべき姿の検討

研修プログラムと講師

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00		
第１日目			オリエンテーション	自動車損害調査業務の概要 ＪＡ共済連	昼食	自動車損害調査業務の概要	導入編	事故受付業務（基礎編）	日中現場急行業務（基礎編）	共同研究	
						ＪＡ共済連					
第２日目	事故相談業務（基礎編）	契約者フォロー業務（基礎編）	事故受付業務（応用編）		昼食	日中現場急行業務（応用編）		契約者フォロー業務（応用編）		夕食	
	ＪＡ共済連					ＪＡ共済連					
第３日目	事故相談業務（応用編）		過失割合		昼食	振り返り編					
	ＪＡ共済連					ＪＡ共済連					

E05

ＬＡ養成研修
（ＪＡ共済連北海道と共催）

前期3泊4日
後期2泊3日
計画各20名
（申込順）

受講対象　共済事業に従事する外務担当者及び共済担当者

参加料　72,400円　（前期・後期合計）
内訳　受講料21,000円　施設利用料8,400円　宿泊食事費33,000円　共同研究費10,000円

最低開催人数
10名

日程

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日（曜）		①前期 28（火） ～ 31（金）	②前期 25（火） ～ 28（金）		①後期 26（月） ～ 28（水）	②後期 25（水） ～ 27（金）						

ＬＡ認証のライセンスを習得するための必須研修

研修のねらい

共済推進活動に携わる担当職員に必要な共済基礎知識や推進活動の基本プロセス、３Ｑ推進（あんしんチェック）の実践方法等について習得し、研修全課程終了後、ＬＡとしての実務に必須となるライセンス認証取得を目的とする。

研修の内容

☆コンプライアンス　：推進活動におけるコンプライアンスの重要性

☆Ｊ－ＷＡＹＳ入門編：ＬＡとして働くということ、ＬＡの主な仕事、ＬＡとしてのスタンス
推進活動プロセス

☆推進基本編　：ライフプラン設計の基本
共済仕組みの概要
仕組みの特長と利点
保障ごとの推進の切り口

☆活動基本編　：３Ｑ推進（あんしんチェック）の目的・実践
訪問先選定
活動計画、活動管理

☆Ｊ－ＷＡＹＳ実践編：推進活動のプロセス（アプローチ、初期訪問、ニーズ調査、提案説明、契約締結、契約者フォロー）

研修プログラムと講師

第１回、第２回　前期

		9:00 10:00	11:00	12:00 13:00	14:00	15:00 16:00	17:00
前期	第１日目 ①５/28 ②６/25	オリエンテーション	Ｊ－ＷＡＹＳ 基本編 ＪＡ共済連	昼食	Ｊ－ＷＡＹＳ基本編 ＪＡ共済連		共同研究
	第２日目 ①５/29 ②６/26	知識編 医療・がん ＪＡ共済連	ＯＪＴノートについて	昼食	知識編 万一 ＪＡ共済連	いえ・くるま	夕食
	第３日目 ①５/30 ②６/27	満期対応 スキル編 医療・がん ＪＡ共済連		昼食	スキル編 医療・がん ＪＡ共済連	Ｊ－ＷＡＹＳ 活動編	夕食
	第４日目 ①５/31 ②６/28	Ｊ－ＷＡＹＳ活動編 ＪＡ共済連		昼食	Ｊ－ＷＡＹＳ 活動編 ＪＡ共済連	共済推進コンプライアンス	

第１回、第２回　後期

		9:00 10:00	11:00	12:00 13:00	14:00	15:00 16:00	17:00
後期	第１日目 ①８/26 ②９/25		Ｊ－ＷＡＹＳ修得編 ＪＡ共済連	昼食	Ｊ－ＷＡＹＳ修得編 ＪＡ共済連		夕食
	第２日目 ①８/27 ②９/26	Ｊ－ＷＡＹＳ修得編 ＪＡ共済連		昼食	Ｊ－ＷＡＹＳ 修得編 ＪＡ共済連	知識編 特定重度・就労不能	共同研究
	第３日目 ①８/28 ②９/27	知識編 介護・認知症 ＪＡ共済連		昼食	知識編 老後・こども ＪＡ共済連	ＬＡ認証式	

F01

信用事業管理者・支店長研修
（JA北海道信連と共催）

1泊2日
計画20名
（申込順）

受講対象　信用事業管理者・支店長（企画・共済・営農経済の担当・事業管理者も参加可能）

参加料　43,000円
内訳　受講料29,000円　施設利用料2,400円　宿泊食事費6,600円　共同研究費5,000円

最低開催人数
10名

日程

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日（曜）						19(木) ～ 20(金)						

管理者のためのマネジメント能力と部下育成

研修のねらい

店舗管理者・部門管理者としての使命と役割を認識するとともに、適切な「業績の管理」と「人の管理」の要点を理解し、店舗のマネジメント課題と対策を明確にする。

研修の内容

1．管理者の使命と役割
　①　マネジメント行動の自己分析　②　リーダシップとコミュニケーション

2．業績管理
　①　目標達成とチームマネジメント　②　職場の問題解決

3．人の管理
　①　メンバーの指導・育成　②　活力ある職場づくり

研修プログラムと講師

	9:00	10:00	11:00	12:00 13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
第1日目	オリエンテーション	1．管理者の使命と役割 ①マネジメントとは何か ②マネジメント行動の自己分析 ③リーダシップとコミュニケーション 農林中金アカデミー（産業能率大学）		昼食	2．業績管理 ①目標達成とチームマネジメント ②職場の問題解決 ・業務的意思決定と管理的意思決定 ・OODAループ 農林中金アカデミー（産業能率大学）		共同研究	
第2日目	3．人の管理 ①メンバーの指導・育成 ・ダイバーシティー・コミュニケーション ・メンバーの動機付け 農林中金アカデミー（産業能率大学）			昼食	3．人の管理（続き） ②活気ある職場づくり ・多様性の中でのメンバーの職業観の形成 ・1ON1ミーティングと経験学習 農林中金アカデミー（産業能率大学）			

（注）研修内容や研修プログラムについては、変更となる場合があります。

F02

貸出管理回収の法務と実務研修（Web）
（ＪＡ北海道信連と共催）

1泊2日
計画40名
（申込順）

受講対象　融資担当役席者・融資担当者

参加料　21,000円
内訳　受講料20,000円　発送荷造料1,000円

最低開催人数
10名

日程

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日（曜）						12(木) ～ 13(金)						

貸出管理回収業務における専門的知識と対応力の習得

研修のねらい

貸出管理回収業務に必要な専門的知識の習得と事例を通じて具体的な対応力を習得する。

研修の内容

金融法務における中心的・重要な事項を実務を通じた事例をもとに理解することを研修目的とします。
研修では次の内容に重点をおいています。

① 債権保全及び管理の法的手段の全体
② 法的手段の実務手続

研修プログラムと講師

	9:15	10:00	11:00	12:00 13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
第1日目	オリエンテーション	1．債権保全及び管理について 農林中金アカデミー（弁護士）		昼食	1．（続き） 農林中金アカデミー（弁護士）			
第2日目	2．法的手段の実務手続 農林中金アカデミー（弁護士）			昼食	2．（続き） 農林中金アカデミー（弁護士）			

（注）研修内容や研修プログラムについては、変更となる場合があります。

G01

営農生産販売部門（野菜・青果）研修

1泊2日
計画15名
（申込順）

受講対象　JAの野菜・青果生産、販売、営農部門の部課長、担当者

参加料　34,000円
内訳　受講料20,000円　施設利用料2,400円　宿泊食事費6,600円　共同研究費5,000円

最低開催人数
—

日程

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日（曜）							21(月) ～ 22(火)					

JAにおける戦略的野菜生産販売体制の確立のための方策と知識を学ぶ

研修のねらい

野菜・青果の需要動向を踏まえた産地確立のための方策と知識技能の習得。

研修の内容

☆営農支援対策の取り組み事例
☆本道野菜・青果生産の取り組み事例
☆消費者からの声
☆相互討議

研修プログラムと講師

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	
第1日目				オリエンテーション	昼食	青果物の生産・販売の取り組み事例① ホクレン	青果物の生産・販売の取り組み事例② ホクレン		共同研究	
第2日目	営農支援対策の取り組み事例 ホクレン		相互討議 JAカレッジ		昼食					

G02

営農生産販売部門（酪農・畜産）研修

1泊2日
計画15名
（申込順）

受講対象　JAの酪農・畜産生産、販売、営農部門の部課長、担当者

参加料　34,000円
内訳　受講料20,000円　施設利用料2,400円　宿泊食事費6,600円　共同研究費5,000円

最低開催人数
―

日程

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日（曜）						17(火) ～ 18(水)						

酪農・畜産の生産販売動向および飼養管理技術・自給飼料増産の基本技術を学ぶ

研修のねらい

輸入穀物価格および国内飼料生産コストが増加している中、酪農・畜産の生産販売動向とあわせ、課題解決のための効果的な営農技術を習得する。

研修の内容

☆酪農・畜産の生産販売動向
☆配合飼料の基礎知識
☆草づくりの基本と自給飼料
☆営農支援対策の取り組み事例
☆相互討議

研修プログラムと講師

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	
第1日目				オリエンテーション	昼食	酪農の生産販売動向	食肉流通と販売動向	配合飼料の基礎知識	草づくりの基本と自給飼料	共同研究
						ホクレン				
第2日目	営農支援対策の取り組み事例		相互討議		昼食					
	ホクレン		JAカレッジ							

G03

組合員組織活動担当者(青年部・女性部事務局)養成研修
(JA北海道中央会と共催)

2泊3日
計画15名
(申込順)

受講対象　営農部門・育成担当部門の担当者

参加料　48,800円
内訳　受講料27,000円　施設利用料3,600円　宿泊食事費13,200円　共同研究費5,000円

最低開催人数
—

日程

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日(曜)			26(水) ～ 28(金)									

遠回りでもやってみましょう
青年部・女性部活動を会議から活性化

研修のねらい

「誰からも意見が出ない」「何も話が進展しない……」会議
「活性化のためには、どうしたら良いか？」事務局の苦労は沢山あります。
遠回りかもしれませんが、「組織を変えるためには、話し合いを変えていく」
そこから始めましょう！　その為のスキルアップ研修です。

研修の内容

☆組合員組織活動の必要性
☆ファシリテーション手法の研修
☆相互討議

研修プログラムと講師

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00		
第1日目				受付	昼食	オリエンテーション	自己紹介	組合員組織活動の必要性 JA北海道中央会	JA事務局活動事例紹介 外部講師	共同研究	
第2日目	組織を変えるための具体的方策 一般社団法人 日本経営協会				昼食	同左 外部講師				夕食	
第3日目	組合員組織活動の実態 外部講師		相互討議 JA北海道中央会		昼食						

G04

農業経営診断士養成研修
（ＪＡ北海道中央会と共催）

2泊3日
計画20名
（申込順）

受講対象　今年度の「農業経営診断士資格試験」受験予定者

参加料　**34,800**円
内訳　受講料18,000円　施設利用料3,600円　宿泊食事費13,200円

最低開催人数
―

日　程

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日（曜）					7（水）～9（金）							

農業経営診断士資格取得のための養成研修

研修のねらい

北海道独自資格である農協職員資格認定試験「農業経営診断士」の取得を目指す方の資質向上に必要な知識・実務能力を修得する。

研修の内容

☆農業税務　☆農業政策　☆農業金融　☆農業経営
☆農業経営診断（耕種・酪農畜産）　☆営農指導・農業振興

※受講に当たっては、ＪＡ北海道中央会が定める農業経営診断士資格試験の参考指定図書を当日持参の上、受講願います。

研修プログラムと講師

	9:00 10:00 11:00	12:00	13:00 14:00	15:00	16:00 17:00		
第1日目	オリエンテーション	昼食	農業税務 中央会顧問税理士	農業政策を巡る情勢 JA北海道中央会	農業金融 JA北海道信連	夕食	
第2日目	農業経営 ＪＡカレッジ	昼食	農業経営診断（耕種・酪農畜産） ＪＡ北海道中央会・ＪＡカレッジ			夕食	
第3日目	農業経営診断（耕種・酪農畜産） ＪＡ北海道中央会・ＪＡカレッジ	昼食	営農指導・農業振興 ＪＡ北海道中央会				

G05

農業経営診断士フォローアップ研修
（ＪＡ北海道中央会と共催）

2泊3日
計画15名
（申込順）

受講対象　農業経営診断士合格者・農家経済改善指導部門・組合員相談窓口担当者ほか

参加料　38,800円
内訳　受講料17,000円　施設利用料3,600円　宿泊食事費13,200円　共同研究費5,000円

最低開催人数
―

日程

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日（曜）							9（水）～11（金）					

営農・経営相談担当者のさらなるレベルアップに

研修のねらい

農業経営診断士資格取得者で、北海道農協資格認定試験専門資格「農業経営診断士」の登録を目指す方が対象です。

地域の担い手経営は、近年、さらに規模が拡大され投資額も大きくなるなか、経営をサポートするＪＡの役割は益々高まっています。対象経営を耕種と畜種に分け、クミカンや決算書等のデータをもとに、原価分析プログラム等を受講者自らが活用し、出力した財務諸表や分析データ、各種技術指標、労働力データから経営を総合的に診断する能力を養います。

研修の内容

☆農業政策をめぐる情勢
☆経営相談・地域農業振興事例
☆営農相談の実務
☆診断分析と生産原価の実務（診断値の見方）
☆原価分析プログラムの活用、分析結果をもとにした総合討議等

研修プログラムと講師

	9:00 10:00 11:00	12:00 13:00	14:00 15:00 16:00 17:00		
第1日目	オリエンテーション	昼食	農業政策を巡る情勢 ＪＡ北海道中央会	経営相談・地域農業振興事例 全受講生	共同研究
第2日目	経営相談・地域農業振興事例 全受講生 / 営農相談実務 JA北海道中央会	昼食	同左 同左	診断分析と生産原価の実務～診断値の見方～ ＪＡ北海道中央会・ＪＡカレッジ	夕食
第3日目	診断分析と生産原価の実務 ＪＡ北海道中央会・ＪＡカレッジ	昼食	診断分析と生産原価の実務 総合討議 ＪＡ北海道中央会・ＪＡカレッジ		

G06

農業税務研修（オンライン同時配信）
（ＪＡ北海道中央会と共催）

2泊3日
計画20名
（申込順）

受講対象　営農指導部門担当者、その他組合員相談業務担当者

参加料　47,800円
内訳　受講料26,000円　施設利用料3,600円　宿泊食事費13,200円　共同研究費5,000円

最低開催人数
―

日程

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日（曜）			3(月) ～ 5(水)									

組合員からの農業関係税務相談対応ができる知識と技能を修得

研修のねらい

組合員の税務相談対応を適切に行えるよう、農業経営に関する課税の体系とその基礎及び実務能力を修得する。本年度はオンライン（Zoom）による同時配信を行いますので、地元での受講が可能です。

研修の内容

☆国税局による税制の情勢　☆所得税・消費税の概要から申告記帳
☆法人税の概要　☆相続税・贈与税の実務　☆税務調査のあらまし

研修プログラムと講師

	9:00 10:00 11:00	12:00	13:00 14:00	15:00 16:00 17:00		
第1日目	オリエンテーション	昼食	農業税務の基礎知識 ＪＡ北海道中央会	税制を巡る情勢 国税局	所得税の実務（申告記帳演習） 外部講師	共同研究
第2日目	所得税の実務（申告記帳演習） 外部講師	昼食	消費税の実務 外部講師	法人税の概要 外部講師	税務調査のあらまし 外部講師	夕食
第3日目	相続・贈与税の実務 外部講師	昼食	同左 同左			

G07

ドローン体験講習
（ＪＡ北海道中央会と共催）

1泊2日
計画各10名
（申込順）

受講対象　ＪＡ営農部門等の部課長及び担当者

参加料　52,000円
内訳　受講料38,000円　施設利用料2,400円　宿泊食事費6,600円　共同研究費5,000円

最低開催人数
5名

日程

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日（曜）					①22(木) ～ 23(金)		②3(木) ～ 4(金)					

農業現場において今後、普及が進むドローンの基礎講習

研修のねらい

農業現場においてドローンが普及する中、令和３年度、中央会と連携協定を締結した酪農学園大学の協力のもと、複数メーカーのドローンの実機操縦やドローン画像解析等を学ぶ。本研修はＧ０８「ドローン資格取得研修」とのセット受講を基本とします。

研修の内容

☆ドローンの基礎
☆複数メーカーのドローン操縦体験（Phantom4Pro等の小型機の操縦を体験）
☆衛星画像による食味分析、刈取適期解析、ドローン画像解析体験等
☆講師によるフライトデモンストレーション
☆農薬散布機はシュミレータによる体験

研修プログラムと講師

	9:00 10:00 11:00	12:00	13:00	14:00 15:00 16:00	17:00	
第１日目		オリエンテーション	昼食	ドローンの基礎と操縦体験 酪農学園大学・ＪＡカレッジ	共同研究	
第２日目	・衛星画像による食味分析 ・刈取適期解析 ・ドローン画像解析体験等 酪農学園大学		昼食			

G08

ドローン資格取得研修
（ＪＡ北海道中央会と共催）

2泊3日
計画各10名
（申込順）

受講対象	ＪＡ営農部門等の部課長及び担当者 （ドローン体験講習受講者を対象とし事前に10時間の飛行経験を有すること）
参加料	92,800円　（11月から翌４月までは１泊当たり500円が加算されます） （資格発行料含む。資格取得にあたっては別途免許費用が発生する。）
内訳	受講料71,000円　施設利用料3,600円　宿泊食事費13,200円　共同研究費5,000円

最低開催人数
3名

日　程

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日（曜）						①11(水) ～ 13(金)		②20(水) ～ 22(金)				

（北海道ドローン協会発行）**ドローン安全技術者講習証の取得を目指す**

研修のねらい

2022年12月に施行された改正航空法では、ドローンの操縦ライセンスや登録講習機関の制度が創設された。道内では農薬散布や空撮画像の解析等による圃場データの管理など活用が始まるなか、ドローン利活用の知識の習得とドローン安全技術者資格習得を目指す。

本資格を取得した場合、飛行許可申請の一部の書類が省略可能になります。なお本研修はＧ07ドローン体験講習とのセットで受講されることを基本とします。

研修の内容

☆北海道ドローン協会のドローン安全技術者講習証の取得に向けた、実技を通じた研修となります。

研修プログラムと講師

	9:00　10:00　11:00	12:00	13:00	14:00　15:00　16:00　17:00		
第１日目		オリエンテーション	昼食	座学＋実技 酪農学園大学・ＪＡカレッジ	共同研究	
第２日目	座学＋実技 酪農学園大学・ＪＡカレッジ		昼食	座学＋実技 酪農学園大学・ＪＡカレッジ	夕食	
第３日目	座学＋実技 酪農学園大学・ＪＡカレッジ		昼食	技能試験・筆記試験 酪農学園大学・ＪＡカレッジ		

H01

新　規　就　農　者　研　修
（ＪＡ北海道中央会と共催）

受講対象　就農後概ね５年程度以内の新規就農者	２泊３日 計画20名 （申込順）
参加料　47,800円 内訳　受講料25,000円　施設利用料3,600円　宿泊食事費14,200円　共同研究費5,000円	最低開催人数 —

日　　程

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日（曜）											5（水） ～ 7（金）	

農業・ＪＡを理解した農業経営と地域農業を担う新規就農者の養成

研修のねらい

組合員及び農業経営者としての心得を学び、協同組合の特性、ＪＡ組織の仕組みや事業内容などの習得。

（重点研修事項）

・協同組合の特性、ＪＡ理念と組織・事業、農業者としての役割を理解する。
・健全な農業経営を実現するための経営管理手法の基礎を学ぶ。
・地域農業の担い手としての自覚を高めるためのコミュニケーション力を学ぶ。

研修の内容

☆協同組合運動とＪＡ組織・事業
☆農業者のコミュニケーション（自己発信力向上）
☆新規就農者に期待すること
☆農業経営の基礎
☆相互討議

研修プログラムと講師

	9:00 10:00 11:00	12:00	13:00 14:00	15:00 16:00	17:00	
第１日目	オリエンテーション	昼食	協同組合運動と農業・ＪＡをめぐる情勢 ＪＡカレッジ	私の農業経営（実践報告） 農業者	共同研究	
第２日目	農業経営の基礎 ＪＡカレッジ	昼食	農業者のためのコミュニケーション 外部講師		夕食	
第３日目	ＪＡへの結集・協同組合活動の推進（相互討議） ＪＡ北海道中央会	昼食				

H02

農業経営継承者研修
（ＪＡ北海道中央会と共催）

受講対象	就農後、概ね５年程度以上の農業者で、かつ今後５年程度以内に経営継承を受ける農業者	2泊3日 計画20名 （申込順）
参加料 内訳	47,800円 受講料25,000円　施設利用料3,600円　宿泊食事費14,200円　共同研究費5,000円	最低開催人数 —

日　　程

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日（曜）											12(水) ～ 14(金)	

農業経営の基礎や経営継承（事業承継）を重点に学ぶ

研修のねらい

農家戸数の減少傾向が続く中、地域の生産基盤を維持し、持続可能な農業を行っていくためには、担い手の確保のみならず円滑な経営継承対策が重要です。

本研修では経営継承に関する人、モノ、お金（資産等）、情報、技術等を引継ぎするポイントや、経営の法人化等について学びます。

研修の内容

☆協同組合運動とＪＡ組織・事業
☆農業政策をめぐる情勢
☆農業経営の基礎
☆経営継承の基本的考え方
☆経営継承準備編（事業承継のポイント）
☆経営継承実践編（経営実態の把握から事業承継計画の作成等）
☆経営継承の事例等
☆相互討議

研修プログラムと講師

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	
第１日目			オリエンテーション	昼食	協同組合運動とＪＡ組織・事業 ＪＡカレッジ		農業政策を巡る情勢 ＪＡ北海道中央会		共同研究	
第２日目	農業経営の基礎 ＪＡカレッジ			昼食	農業経営の法人化について 外部講師				夕食	
第３日目	農業における経営継承について 外部講師			昼食						

H03

ＪＡ青年部リーダー養成研修
（ＪＡ北海道中央会と共催）

2泊3日
計画20名
（申込順）

受講対象　ＪＡ青年部役員、リーダー

参 加 料　47,800円
内　訳　受講料25,000円　施設利用料3,600円　宿泊食事費14,200円　共同研究費5,000円

最低開催人数
―

日　　程

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日（曜）										29(水) ～ 31(金)		

ＪＡ青年部組織活動を担うリーダーシップ発揮のために

研修のねらい

ＪＡ青年部組織活動活性化のための基本的知識と技能の習得、リーダーシップ発揮のためのコミュニケーション力等の向上を図る。

研 修 の 内 容

☆ＪＡ運動と青年部活動の役割
☆ＪＡ青年部活動とリーダーとしての役割と心構え
☆ＪＡ青年部活動とリーダーに期待すること
☆ＪＡ青年部リーダーのコミュニケーションとリーダーシップ
☆相互討議

研修プログラムと講師

	9:00 10:00		11:00	12:00 13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	
第１日目		オリエンテーション	ＪＡ青年部活動に期待すること 系統講師	昼食	ＪＡ青年部活動・リーダーの役割 北海道農協青年部協議会		ＪＡ運動と青年部の役割 ＪＡ北海道中央会	共同研究	
第２日目	わがＪＡの取組み JA青年部		当面する農業政策の動向 ＪＡ北海道中央会	昼食	ＪＡ青年部リーダーのコミュニケーション 外部講師			夕食	
第３日目	ＪＡ組織・事業と青年部活動について<相互討議> ＪＡ北海道中央会			昼食					

H04

女性農業者生き活き研修
（JA北海道中央会と共催）

1泊2日
計画15名
（申込順）

受講対象　健康・快活・活動的など生き活きを目指す女性農業者

参加料　34,500円
内訳　受講料20,000円　施設利用料2,400円　宿泊食事費7,100円　共同研究費5,000円

最低開催人数
―

日程

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日（曜）											3（月）～4（火）	

地域農業・農村の一層の活性化に向けたイキイキ（生き活き）さんの養成

研修のねらい

地域農業・農村の活性化に向けては、女性の活躍が重要となります。ＪＡの生い立ち・理念・仕組み・組織・事業への一層の理解促進と女性農業者のＪＡ経営参画について情勢等を相互意見交換を通して学びます。

研修の内容

☆協同組合の理念と農業・ＪＡをめぐる情勢
☆女性農業者の活動事例
☆女性農業者のＪＡ経営参画に向けた情報提供
☆相互討議による情報交換

研修プログラムと講師

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	
第1日目				オリエンテーション	昼食	農業・JAをめぐる情勢 協同組合運動 ＪＡカレッジ	女性農業者のＪＡ役員登用について JA北海道中央会	女性農業者活動実践報告 女性農業者	共同研究	
第2日目	協同組合運動とＪＡ経営参画（相互意見交換） ＪＡ北海道中央会				昼食					

H05

ＪＡ青年部次期リーダー養成研修
（ＪＡ北海道中央会と共催）

2泊3日
計画20名
（申込順）

受講対象　ＪＡ青年部員、次期役員候補

参加料　46,800円
内訳　受講料25,000円　施設利用料3,600円　宿泊食事費13,200円　共同研究費5,000円

最低開催人数
―

日程

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日（曜）				3（水）～5（金）								

これからのＪＡ組織と事業を担う人材育成をはかる

研修のねらい

協同組合の歩み、ＪＡグループの組織と事業の概要、スマート農業技術の基礎、対人関係の基本となるコミュニケーション等、リーダーに求められる基礎的事項を学ぶ。

研修の内容

①協同組合と青年部活動の関わり
②ＪＡ青年部活動の取組事例
③スマート農業技術の基礎（ＧＩＳシステムとドローン）
④ＪＡ青年部リーダーのコミュニケーション力アップ
⑤スポーツレクリエーション
⑥相互討議（グループディスカッション）

研修プログラムと講師

	9:00 10:00 11:00	12:00	13:00	14:00 15:00	16:00 17:00		
第1日目		昼食	オリエンテーション	協同組合と青年部活動の関わり ＪＡ北海道中央会	ＪＡ青年部の取組事例 ＪＡ青年部	共同研究	
第2日目	スマート農業技術（ドローン等）の基礎 外部講師	昼食	ＪＡ青年部リーダーのコミュニケーション 外部講師		スポーツレクリエーション 外部講師	夕食	
第3日目	相互討議 ＪＡ北海道中央会	昼食					

Ⅳ．受　託　研　修

「受託研修」活用のご案内

ＪＡカレッジでは、現地に講師を派遣する「受託研修」を実施しており、基本的には、本校で実施していないプログラムでの補完的位置づけにあります。

１．受託研修メニュー（詳細は次項以降を参照ください）

⑴　ビジネスマナー研修

⑵　コンプライアンス研修

⑶　組合員（農業協同組合論）研修

２．研修申し込みの流れ

⑴　日程調整

日程の事前調整が必要となりますので、少なくとも１ケ月先の日程で調整させていただきます。

⑵「講師派遣依頼」の提出

日程が確定した段階で、本校宛に講師派遣依頼の提出をお願いしています。

所定様式は設定していませんので、①実施日時、②開催場所、③依頼内容、④派遣講師他を記載した公文書でお願いいたします。

⑶　研修の取り進め・費用概算他のご案内

後日、研修実施に伴う留意事項、配布資料（原紙）、概算費用をご案内いたします。

⑷　請求書の発行

研修終了後に、確定版の請求書を発行させていただきます。

３．受託研修経費

⑴　旅費・交通費（共通）

実費とさせていただきます。

⑵　受講料

個別に設定いたします。

ビジネスマナー研修

受講対象　研修効果の発現、定着を図るため役職員全員での受講を基本とさせていただきます（研修効果を高めるため、１回の人数は30名程度）。

受　講　料　基本料金　20,000円（各コース標準２時間）
回数料金　10,000円（同サイクル２回目以降１回につき）

研修のねらい

挨拶とお辞儀は生活の句読点です。気持ちの良い接遇は職場の活性化の源でもあります。

お客様（組合員）は常に感動の瞬間を求めています。人と差がつくサービスの心得（マナーを構成する要素）を再訓練し、周りから「このＪＡはすごい」と言われてみませんか。

研修の内容

ビジネスマナーは、頭で理解していても実践しなければ意味がありません。また、職場の中には他人事と思っている人もいるでしょう。全員参加を基本に段階的に深化させるためのプログラムとして、「ビジネスマナー基本編」→「職場のマナー基本編」の２コースを用意してあります。

研修プログラム（各コース抜粋）

⑴　ビジネスマナー基本編（電話応対・おじぎ強化編）

・お客様（組合員）は、毎回、感動の瞬間を求めています！
・職場のあいさつ（自己点検）
・人と差がつくサービスの心得
・今さら聞けない接遇用語、意外と気付かない間違った言葉づかい
・ビジネス電話応対の４つの心構え
・電話応対演習（数パターン）
・来客応対演習（おじぎ、笑顔）　など

⑵　職場のマナー基本編（職場・仕事のマナー他　強化編）

・人と差がつくサービスの心得
・職場のマナー（自己点検）
・「あいさつ」発声訓練
・身だしなみ点検
・執務中のマナー
・指示・命令の受け方／報告の仕方
・監督者の方へ～上手な聴き方
・部下の言い分や気持ちのつかみ方
・電話応対演習（復習）
・携帯電話のマナー　など

コンプライアンス研修

受講対象　原則として入組５年目までの職員

受　講　料　基本料金　20,000円（各コース標準1.5時間）
回数料金　10,000円（同サイクル２回目以降１回につき）

研修のねらい

コンプライアンスは当初、関係法令だけを守る狭義の法令等遵守でした。その後、諸規定・マニュアル等の社内規範、世の中の常識･良識等の社会規範をそれぞれ遵守することが含まれ、今は、創業精神や理念･ビジョンに適う行動を取ることも求められるようになりました。

研修の内容

社会人・ＪＡ職員として理解すべき基本的ルールを、入組後速やかに習得するとともに、日常業務における注意点について学び、コンプライアンス・マインドを醸成します。

研修プログラム

・ＪＡ役職員にとってのコンプライアンス
・コンプライアンスに係る各種の規範
・日常業務におけるコンプライアンス

組合員（農業協同組合論）研修

受講対象　組合員他

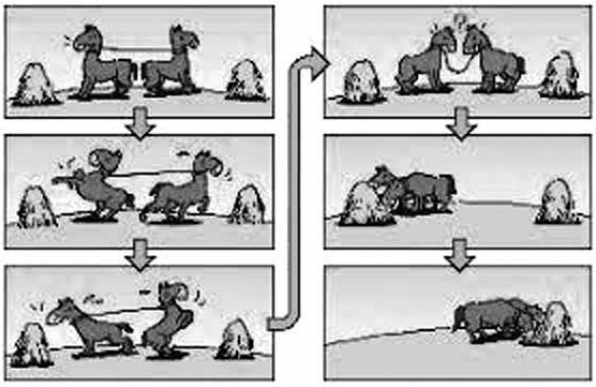
受　講　料　基本料金　20,000円（各コース標準1.5時間）
回数料金　10,000円（同サイクル２回目以降１回につき）

研修のねらい

全道の多くの農協が、運営上の最大の課題としているのが、いわゆる農協離れがあることです。その主たる原因が世代交代等により農協の仕組みそのものの理解不足にあるのならば、ロッチデール原則をはじめとして、農業者が利用しなければ農協は成立しないという原点を再認識してもらう必要があります。

研修の内容

世界で最初の協同組合（ロッチデール公正先駆者組合）がつくられ、わが国では産業組合が全国的に組織され、その後、農業協同組合へと変遷していきました。最近では、農協法が改正され我々を取り巻く環境は大きく変化しております。そのような中において、農協の本質を再認識し、改正農協法の下で、これからの農協はどうあるべきかについて考える機会といたします。



研修プログラム

・一人ではできないことを取りまとめて行い成果を上げる
・営農も農協も主役は農業者である
・商人と安売り競争をせず購入額に応じ利益を分配する
・社外に流出する営利と違い協同組合の利益は組織内にとどまる
・加入脱退の自由で１人１票の民主的運営が行われる
・純良で確実な供給を続けるために連合会を設立する
・北海道農業と農協には都府県と異なる特性がある
・農業において農業者と農協は一体でなければならない
・農協のあるべき姿と進むべき道を確認しょう　（一部抜粋）

※過去の開催実績も踏まえながら、調整させていただきます。

Ⅴ．ＪＡカレッジ「施設利用のご案内」

Ⅰ．研修者の基本的心得

Ⅱ．社会的規範などからの逸脱行為への対応

Ⅲ．研修期間中の日課と留意事項

Ⅳ．施設の利用について

Ⅴ．その他

【補足】施設利用料・宿泊食事費の内訳/前泊料金

研修参加者の心得と施設利用のご案内

Ⅰ．研修者の基本的心得

・本校は、道内ＪＡグループの「教育研修センター」として、養成教育（学生部）をはじめ役職員、更には組合員等の方々を対象に“有能な人づくり”のための教育活動をしています。
・本道農業とＪＡグループは今、大きな変革期にあり“人づくり”の重要性は一層高まりをみせており、教育研修の効果による「変革と成長」への期待はますます膨らんでおります。
・研修参加の皆さん方は、その期待に応えるべく、姿勢を正し、一つでも多くの事柄を修得しようとする“意欲的・挑戦的な研修態度で”のぞまれることを切望します。

Ⅱ．社会的規範などからの逸脱行為への対応

・研修期間中、社会的規範からの逸脱及び本心得に反して他人に迷惑をかける行為があった場合、程度に応じて次の対応を行います。
⑴　口頭による注意
⑵　参加ＪＡ・団体への報告
⑶　参加ＪＡ・団体への報告の上、受講中止
・上記にかかわる言動で被害を受けた方はすみやかに事務局に連絡いただくようお願いします。

Ⅲ．研修期間中の日課と留意事項

1．生活日課

午前の部		午後の部	
日課	時間	日課	時間
朝シャワー	6:00～8:00	受講	13:00～17:00
朝食	(7:15～8:15)	夕食	(17:30～18:30)
受講	9:00～12:00	入浴	17:00～23:00
昼食・休息	(12:00～13:00)	門限	22:00

食事の時間帯については、混雑を避けるため、左記の時間の範囲内で調整いたします。
門限は22:00とします。

⑴　研修生の体調管理、良好な生活環境確保のため、全ての施設利用は原則として23:00までとなります。それまでに各階ロビー、浴室の利用を終わらせてください。また。廊下等での携帯電話の利用にもご留意ください。
⑵　門限時間を過ぎますと施錠いたします。
⑶　研修コースによって時間帯が多少異なる場合がありますので、担当講師の指示に従ってください。
⑷　冬期間の駐車場については管理人の指示に従ってください。

2．受講中の留意事項

⑴　**着　　席**
・午前・午後の開始時は「５分前入室・着席」を励行してください。

⑵ **修　　礼（元気なあいさつは１日の活力のもと）**

・修礼は、「その日の開始時」、「昼食休憩前後」、「その日の終了時」、「夕食休憩前後（夜講時）」並びに講師が変わる都度行います（自治会副会長が担当）。

・開始時の号令：「**起立**（気を付けの姿勢で）」「**よろしくお願いいたします**（分離礼）」「**着席**」

・終了時の号令：「**起立**（気を付けの姿勢で）」「**ありがとうございました**（分離礼）」

⑶ **携 帯 電 話**

・携帯電話は電源を切るか、マナーモードに切替えてください。

・応答による講義中の退出等は緊急の場合を除きご遠慮ください。

⑷ **喫　　茶**

・各階に設置してある自動給茶機をご利用ください。

・講義中の飲食物は講師の承認を得た場合以外は、研修教室に持ち込みできません。

・飲料の自動販売機は、研修館１階、学校棟１階、恵北寮玄関前に設置してあります。

３．ネームプレート着用

・在校中及び懇親会時は「ネームプレート」を必ず着用してください。

・職場で使用されている「ネームプレート」を持参願います。

・お持ちではない方には「ネームプレート枠」をご用意いたしますので、名刺（横版）でご利用頂けます。
また、未持参、名刺（縦版）の方は手書用台紙をご用意しております。

４．自　治　会

・研修期間中、協同精神を基調として研修生活を守り、親睦を図るために自治会をつくり運営します。

・会　長（１名）……自治会の運営、連絡、協調指導等の統括を行います。

・副会長（若干名）……会長を補佐し、受講の際の号令を行います。

５．欠講・外出

・やむを得ない事由により欠席する場合には欠講届を事前に提出してください（届出用紙は事務局に申し出ください）。

・不要不急な外出は極力、自粛ください。

Ⅳ.施設の利用について

１．火災等非常事態発生の場合

⑴　火災、その他の非常事態に備え、各自非常口を確かめてください。

⑵　非常口は各階北側にあり、非常階段につながっています。

⑶　非常ベルは、火災が発生した場合以外には手を触れないでください。

⑷　非常ベルが鳴った際には直ちに避難行動をとってください。

２．男女宿泊階の区別

⑴　原則として男女の宿泊階を区別しております。相互の立ち入りは禁止いたします。

３．各室の清掃、整理

⑴　紙くずや空かん・空びんは、分別収集にご協力ください。

⑵　寮室を出るとき、必ず施錠してください。
⑶　ベッドシーツ、掛け布･枕カバー等は各自で必ず使用してください。また、研修終了日の朝に、それらをまとめ廊下に出してください。

4．食　　事

⑴　食堂は恵北寮２階にあります。
⑵　セルフサービスです。
⑶　座席は、左側奥の方から詰めてお座りください（本校学生は右側手前に座ります）。

5．入　　浴

⑴　浴室は、研修館１階（男女）、恵北寮１階（男女兼用）にあります。宿泊者が多い場合には臨時に男女区分を変更することがあります。
⑵　利用時間　入浴17:00～23:00　朝シャワー 6:00～8:00
⑶　リンスインシャンプー、ボディソープの備え付けがあります。
⑷　安全上の理由から、ご利用時間外は施錠させていただきます。

6．喫　　煙

⑴　喫煙場所は､研修館（玄関外喫煙コーナー）､恵北寮･新寮（恵北寮玄関外喫煙コーナー）です。本館は全階禁煙です。
⑵　研修館玄関外喫煙コーナー、恵北寮玄関外喫煙コーナーは施錠時間前までご利用いただけます。
⑶　宿泊室、各階ロビー及び研修館１階談話室は禁煙です。

7．貴重品ボックス

⑴　研修館２～４階フロアに設置してあります。

8．娯　　楽

⑴　談話室は当面ご利用できません。

9．飲　　酒

⑴　各階ロビーでの飲酒は､他の研修生の迷惑になることもありますので､終日禁止しております。

10．医　　薬

⑴　緊急薬等の備えがありますので、事務室、夜間は緊急連絡先（０９０－８８９７－６２９１）へお申し出ください。

11．洗　　濯

⑴　研修館１階洗濯室の洗濯機、恵北寮１階（女性用の指定機を用意してあります）をご利用ください。恵北寮１階の洗濯機を利用の場合、小袋洗剤を用意しておりますので、事務室にお申し出ください。
⑵　なお、女性用浴室内（脱衣所）にも女性専用の洗濯機はあります。入口の掛札を「洗濯中」にすると入浴時間後も施錠しません。

12．アイロン

⑴　研修館２～４階の貴重品ボックス上、恵北寮１階の洗濯室にご用意してあります。

13. ドライヤー

(1) 各階の洗面所に設置してあります。

14. 扇　風　機

(1) 各部屋の個人用ロッカー内に収納されております。

15. WiFi

(1) 各階談話コーナーエリアでご利用になれます。

(2) パスワードはエリア内の廊下等に掲示してあります。

16. ＰＣ・プリンター

(1) 本館１階図書室に設置してあります。

17. 室 内 暖 房（冬期間）

(1) 厳冬期（12月～２月）を除き夜間（24:00～６:00）の暖房は止まります。

(2) 宿泊部屋の暖房は、入室時に適温設定してください。

18. 加　湿　器（冬期間）

(1) 全室に設置してあります。

(2) 加湿器の利用に際し、各自で注水し、退所時には水を捨ててください。

Ⅴ．そ　の　他

１．部屋の鍵・名札の返却

(1) お帰りの際は、部屋の鍵、名札を「鍵及び名札投入箱」にお戻しください。

２．荷物の送付について

(1) 事務室に送り状（着払い）をご用意しております。

(2) 各自で梱包し、正面玄関に置いてください。空箱等が必要な方は事務室でお尋ねください。

３．忘れ物

(1) お帰りの際は、手荷物等忘れ物のないようお気をつけ下さい。

【補足】施設利用料・宿泊食事費の内訳/前泊料金

（全て税込みです）（円）

区分		施設利用料	宿泊食事費		
			宿泊	食事	合計
夏期 5月～10月	1泊2日	2,400	4,500	2,100	**6,600**
	2泊3日	3,600	9,000	4,200	**13,200**
	3泊4日	4,800	13,500	6,300	**19,800**
	4泊5日	6,000	18,000	8,400	**26,400**
	5泊6日	7,200	22,500	10,500	**33,000**
冬期 11月～4月	1泊2日	2,400	5,000	2,100	**7,100**
	2泊3日	3,600	10,000	4,200	**14,200**
	3泊4日	4,800	15,000	6,300	**21,300**
	4泊5日	6,000	20,000	8,400	**28,400**
	5泊6日	7,200	25,000	10,500	**35,500**

前泊料金　（円）

区分	夕食無・朝食有
夏期 5月～10月	5,100
冬期 11月～4月	5,600

（宿泊料単価＋食事代）

※前泊の夕食はご用意しておりません。

［参　考］

(1)　宿泊料単価

1日当たり（円）

夏期	4,500
冬期	5,000

(2)　施設利用料

1日当たり（季節関係なし）（円）

1,200

(3)　食事費　（円）

	朝食	昼食	夕食	合計
	600	750	750	
1泊2日	1	2	0	**2,100**
2泊3日	2	3	1	**4,200**
3泊4日	3	4	2	**6,300**
4泊5日	4	5	3	**8,400**
5泊6日	5	6	4	**10,500**

Ⅵ．研修申込に係る留意事項

研修申込に係る留意事項

１．申込受付の取扱い

安全な受講機会と研修効果を確保するため、各研修の計画人数まで申込順に受付け、申込み期限前でも計画人数に達した段階で、受付けを締め切らせていただく場合があります。なお、申込状況は当校ホームページに掲載しますのでご確認願います。

２．最低開催人数の設定

「最低開催人数」が掲載されている研修につきましては、各研修の申込期限時点で「最低開催人数」に満たない場合は原則として研修中止させていただきます。

なお、研修中止となった場合には、改めて研修中止をご連絡させていただきます。

３．研修のキャンセルに係る取扱い

ＪＡ並びに研修参加者の都合で、研修参加を取り止めた場合には、原則として次のキャンセル料が発生いたします。（取消事由を除く）

	キャンセル料
受講申込から８日目前	無　　料
７日前から研修初日	受講料全額
取消事由に該当する場合	無　　料

【取消事由】

以下の理由等で受講中止申請の際、「受講申込書」の（説明欄）にその旨を記載願います。

☑ 研修参加者が他の受講者へ交替されるとき。

☑ 研修参加者が別の回次へ変更されるとき。

☑ 台風・大雪・地震などの自然災害が発生したとき。

☑ 研修参加者の入院や冠婚葬祭などのやむを得ない事情が生じたとき。

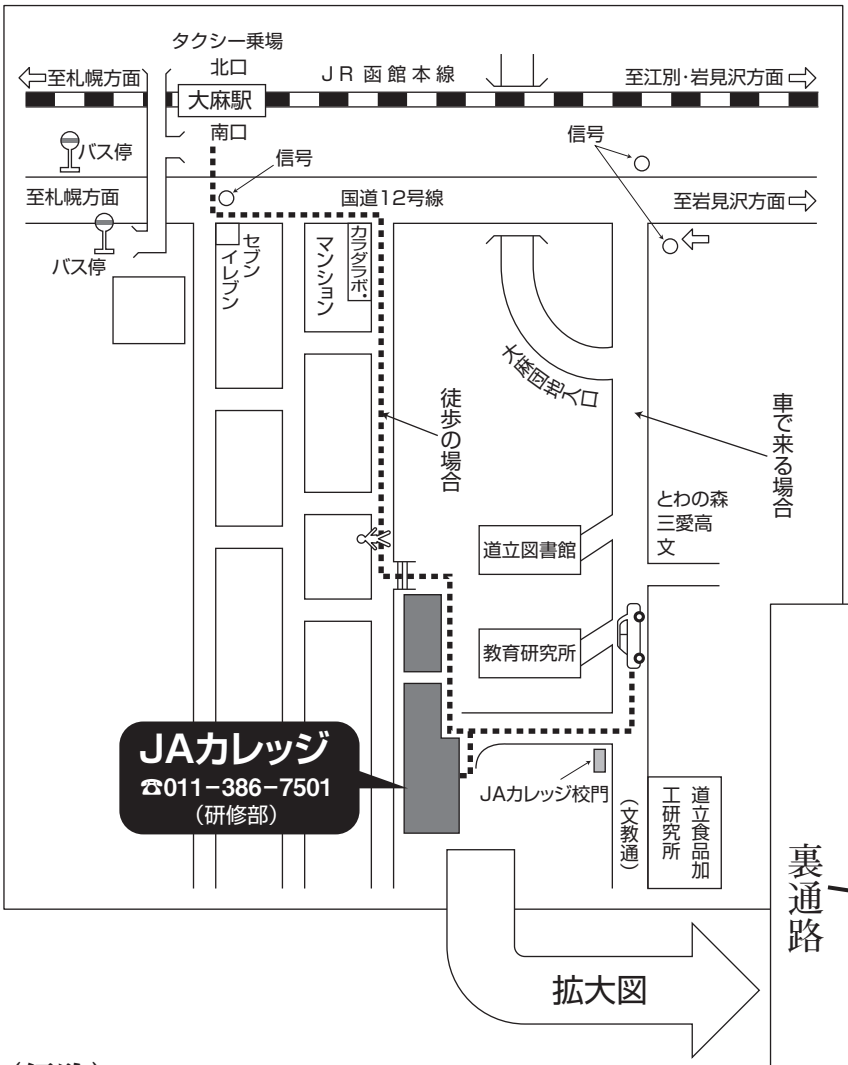
４．共同研究の実施

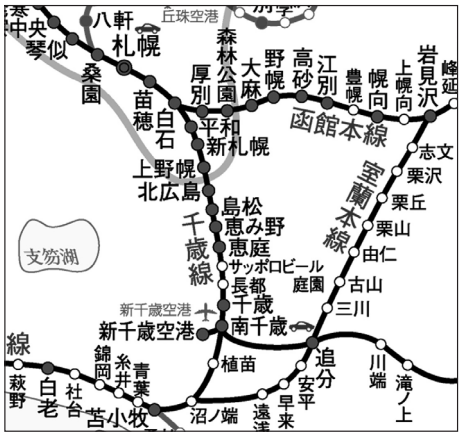
各研修の初日の晩に受講者相互の親睦と交流を図る場（共同研究）を開催いたします。経費につきましては、受講料と併せ請求させて頂きますのでご理解願います。

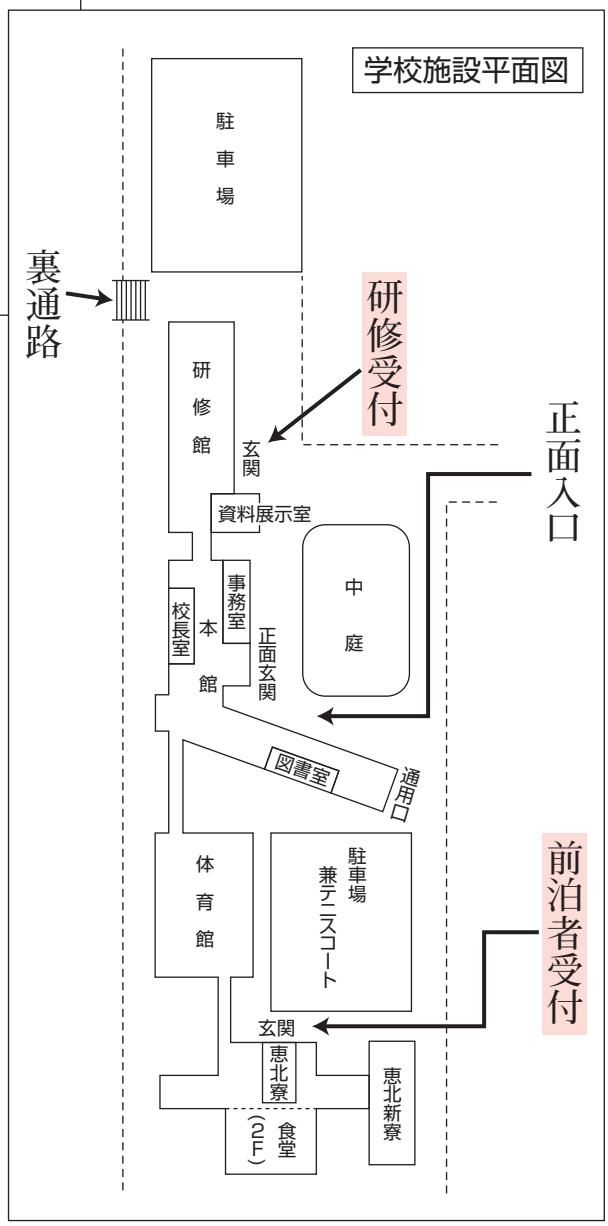
MEMO

・札幌駅からJRをご利用される方は、函館本線江別・岩見沢方面の列車をご利用ください。
・新千歳空港からJRをご利用される方は、JR新札幌駅からタクシーを利用する方法もあります(1,800 円程度)。

JA カレッジへの経路図







(経路)

ＪＲ：大麻駅下車　南口より徒歩約 10 分

バス：ＪＲバス・夕鉄バス　大麻駅南口下車　徒歩約10分

●徒歩の方は、大麻駅通りから江別方面2本目の通りを右折して直進すると裏通路に出ます。

●車でお越しの方は、文教通側の正面入口からお入り下さい。

(研修受付)

研修館の玄関にお越し下さい。

(前泊者受付)

前泊者は、「恵北寮」または「研修館」の玄関に部屋の鍵を用意してあります。

21時までにお越し下さい。

(緊急時の連絡先)

ＪＡカレッジ総務部　011−386−4331

090−8897−6291

JAカレッジホームページには最新のトピックスを掲載しております。

一般財団法人北海道農業協同組合学校

JAカレッジ

〒069-0834　江別市文京台東町43番地1
電　話　研修部（011）386-7501
学生部　386-7502
総務部　386-4331
ファックス　387-1715
フリーダイヤル　0120-918-417
ホームページ　http://ja-college.jp/

JAカレッジ　検索

国消国産
こくしょうこくさん
©よい食P
ＪＡカレッジも国消国産を応援しています。

JA GROUP HOKKAIDO